

札幌医科大学要覧

平成19年度

北海道公立大学法人 札幌医科大学



シンボルマークについて

**本学の開学30周年（創基35周年）を契機に卒業生
や学生等から広く公募し、昭和56年に制定された。**

だ円（枠組み）・・・ 宇宙の調和を示す。

1945・・・・・・・ 本学の創基として、北海道立女子医学専門学校が開校した昭和20年（1945年）を意味する。

七光星・・・・・・・ 道章及び道旗の原形であり、北海道を象徴する。

羽・・・・・・・・・ 本学の一層の発展と飛躍を示す。

柏の葉・・・・・・・ 英知と質実を示すものとして本学の学生バッジの図案の背景にも採用されている。

ヘビと杖・・・・・・・ 医学のシンボルであるアスクレピオスの杖を示しており、ヘビの形は札幌医科大学の頭文字Sを示し、杖の下の方が太くなっているのは、大地にがっしりと根をはり不動のたくましさを意味している。

札幌医科大学要覧目次

1 概要	1
(1) 沿革	1
(2) 歴代学長	2
(3) 札幌医科大学組織機構図	3
(4) 組織及び役職員等	4
(5) 名誉教授	6
(6) 名誉博士	6
(7) 専任職員数	7
ア 総括表	7
イ 教養教育科目職員数	8
ウ 専門教育科目職員数	8
エ 保健医療学部職員数	9
オ 附属病院及び事務局職員数	9
(8) 医学部・保健医療学部の主な研究題目	10
ア 医学部	10
イ 保健医療学部	17
(9) 文部科学省G Pの採択・実施状況	19
(10) 国際交流	20
ア 北方医学交流	20
イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	20
ウ 国際医学交流センター	20
エ 教員在外研究等	20
(11) 標本館	21
ア 歴代館長	21
イ 概況	21
ウ 利用状況	21
2 学事事項	22
(1) 学生に関する事項	22
ア 年度別志願者及び入学者数	22
イ 定員及び現員数	23
ウ 出身地別現員数	23
(2) 年次別卒業者数	24
ア 医学部	24
イ 保健医療学部	24
(3) 国家試験合格状況	25
ア 医師	25
イ 看護師	25
ウ 保健師	25
エ 理学療法士	25
オ 作業療法士	25
(4) 研究生数	26
(5) 博士（医学）の学位授与者数	27
(6) 修士及び博士の学位授与者数	27
3 附属病院	28
(1) 沿革	28
(2) 歴代病院長	28
(3) 患者概況	29
ア 年間延患者数	29
イ 1日平均患者数	29
(4) 中央部門稼働実績概況	30
ア 放射線部使用状況	30
イ 検査部・機器診断部・病理部検査件数	30
ウ 薬剤部調剤件数	31
エ 手術部手術件数	33
(5) 分娩件数	33
(6) 定床別等級別病床数	34
(7) 病理解剖件数	35
(8) 医療相談状況（平成17年度）	36
ア 各科別件数	36
イ 相談内容別件数	36
(9) 病院経営概況	37
ア 病院診療収入稼働額	37
イ 医療行為別診療収入稼働額	37

4 附属総合情報センター	38
(1) 沿革	38
(2) センター所長	38
(3) 組織	38
(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況	38
(情報システム部門)	
ア 教育支援システム	38
イ 研究支援システム	38
ウ 地域医療支援システム	38
エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	38
(図書館部門)	
ア 組織・施設概要	39
イ 蔵書・利用概要	39
ウ 入館者数内訳	39
エ 利用概要	39
オ 特徴的な業務	39
5 附属産学・地域連携センター	40
(1) 沿革	40
(2) センター所長	40
(3) 組織	40
(4) 業務概要	40
ア 研究支援	40
イ 教育支援	40
ウ 知的財産の管理活用	40
(5) 文部科学省科学研究費補助金	41
(6) 受託研究受入れ状況	41
(7) 特許出願等の状況	41
6 教育研究機器センター	42
(1) 沿革	42
(2) 歴代施設部長及びセンター所長	42
(3) 組織	42
(4) 研究計画の概要	43
7 動物実験施設部	44
(1) 沿革	44
(2) 歴代施設部長	44
(3) 組織	44
(4) 関連委員会・指針	45
(5) 事業の概要(平成17年度)	45
ア 公開セミナー	45
イ 施設利用者数	45
ウ 実験動物購入数及び飼育数	45
エ 実験動物検疫検査実績数	45
8 医学部附属がん研究所	46
(1) 沿革	46
(2) 歴代研究所長	46
(3) 組織	46
(4) 研究計画の概要	47
ア 生化学部門	47
イ 分子生物学部門	47
ウ 分子病理病態学部門	47
9 医学部附属臨海医学研究所	48
(1) 沿革	48
(2) 歴代研究所長	48
(3) 組織	48
(4) 研究計画の概要	48
10 平成19年度収入支出予算	49
11 校舎等建物面積	50

1 概 要

(1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部(昭和58年4月開学)の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。

札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年	2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年	3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年	4月1日	開学
昭和25年	6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年	8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年	4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年	3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年	4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年	4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年	9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年	3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年	4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年	6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年	9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年	1月10日	医学進学課程設置
昭和33年	4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年	6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年	8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年	4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年	12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年	4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年	12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年	4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年	7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年	4月1日	口腔外科学第二講座廃止
昭和43年	4月1日	生化学第二講座増設
昭和43年	9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年	12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年	4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年	2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年	3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年	11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年	1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年	3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年	6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年	8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年	8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年	9月30日	体育館竣工
昭和54年	1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年	4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年	4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年	2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年	5月16日	動物実験施設部設置

昭和58年	6月23日	附属病院等整備第1期工事（病棟・中央診療棟）竣工
昭和60年	6月20日	附属病院等整備第2期工事（外来診療棟）竣工
昭和61年	3月13日	附属病院等整備第2期工事（臨床教育研究棟）竣工
平成3年	3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年	4月1日	保健医療学部（入学定員90名）開設 （看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
平成7年	3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年	4月1日	特定機能病院として承認
平成10年	4月1日	大学院保健医療学研究科（入学定員24名）開設 （看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻）
平成10年	4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年	3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年	4月1日	附属情報センター設置
平成11年	4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年	6月11日	新図書館開設
平成12年	4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期（入学定員6名）開設
平成12年	4月1日	学務部を廃止し、学生部を設置
平成12年	4月1日	学部に副学部長制（2名）施行
平成12年	4月1日	臨床検査医学講座増設
平成12年	6月25日	開学50周年（創基55周年）記念式典挙行
平成12年	10月26日	交流会館開設
平成13年	4月1日	大学院医学研究科を再編整備（地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ）
平成13年	4月16日	地域医療支援センター設置
平成14年	4月1日	患者の家族等のための宿泊施設（ファミリーハウス）開設
平成14年	10月1日	附属病院に救命救急センターを設置
平成14年	12月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年	12月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年	4月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第69条に基づく認証評価を受ける （財）日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成16年	9月17日	
平成18年	4月1日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置
平成18年	4月1日	大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期（入学定員2名）開設
平成19年	4月1日	地方独立行政法人化「北海道公立大学法人 札幌医科大学」

(2) 歴代理事長等

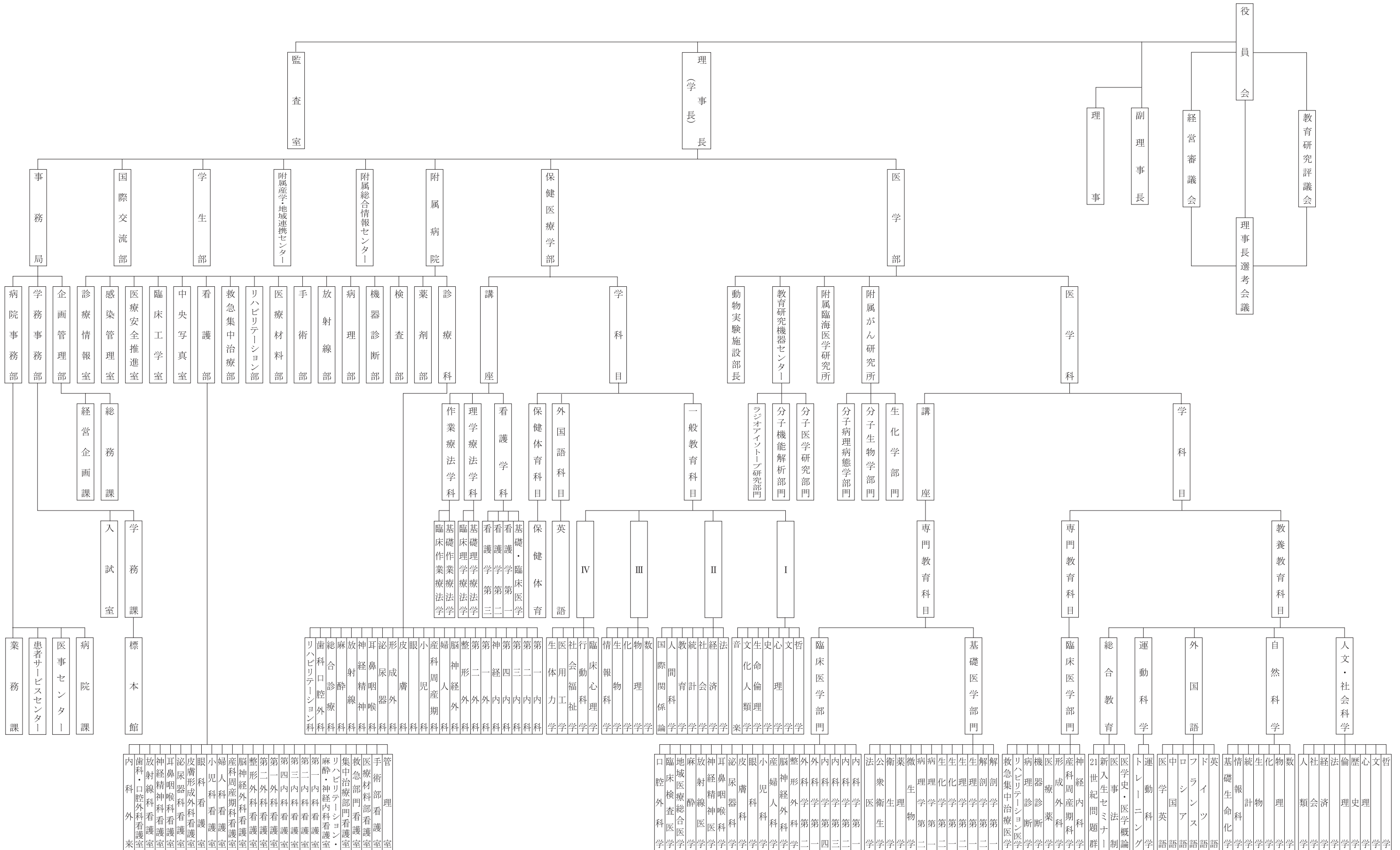
◎ 理事長

平成19年 4月 1日 ― 現 在 今 井 浩 三

◎ 学 長

昭和25年	4月 1日	―	昭和36年	3月31日	大 野 精 七
昭和36年	4月 1日	―	昭和40年	3月31日	中 川 諭
昭和40年	4月 1日	―	昭和45年	2月 1日	新 保 幸太郎
昭和45年	2月 1日	―	昭和47年	2月 8日	(学長職務代理) 渡 邊 左武郎
昭和47年	2月 9日	―	昭和55年	2月 8日	渡 邊 左武郎
昭和55年	2月 9日	―	昭和61年	2月 8日	和 田 武 雄
昭和61年	2月 9日	―	平成4年	2月 8日	菊 地 浩 吉
平成4年	2月 9日	―	平成10年	2月 8日	谷 内 昭
平成10年	2月 9日	―	平成16年	2月 8日	秋 野 豊 明
平成16年	2月 9日	―	現 在		今 井 浩 三

(3) 北海道公立大学法人札幌医科大学 組織機構図



(4) 組織及び役職員等

(平成19年6月1日現在)

職 名	氏 名
学 長	今 井 浩 三
理 事	◎ 役 員
理 事 長	今 太 丸
理 事	井 田 山
理 事	瀬 本 崎 本 辺
理 事	當 島 白 旗 渡
監 監	◎ 経営審議会
議 委	長 員
	今 太 丸
	井 田 本 崎 山 田 和 崎 口 本
	三 博 明 治 子 夫 勲 郎 司 也
	◎ 教育研究評議会
議 委	長 員
	今 當 丸
	井 瀬 山 本 木 藤 藤 田 野 木 田 井 本 野 葉 田 尾 木
	浩 規 知 和 昭 利 昇 洋 隆 由 典 暢 泰 公 隆 佳 雄 昭
	三 嗣 子 明 義 和 志 文 至 夫 均 弘 司 美 一 江 二 房 眞
	◎ 事 務 局
事 務 局 長	松 尾 昭 房
企 画 管 理 部 長 兼	三 田 村 栄 幸
学 務 事 務 部 長	笠 原 清 孝
病 院 事 務 部 長	吉 原 馬 博
総 務 課 長	中 井
総 務 課 参 事 長	
経 営 企 画 課 長	
学 務 課 長	

学務課入試室長	嶋 田 哲 朗
病院課長	五 十 嵐 喜 一 郎
医事センター長	米 安 一 二 三
患者サービスセンター長 (兼)	笠 原 清 孝
業務課長	小 酒 井 浩

◎ 医 学 部

学 部 長 (兼)	教授	當 黒 澤	瀬 木 田	規 由 幸	嗣 夫 展
副 学 部 長 (〃)	〃				
副 学 部 長 (〃)	〃				
学 科 目					
心 理 学	教授	澤 今 旗 小 加 高 賀 吉 森 岡 野 濱 藤 柳 本 橋 川 合 井	田 井 手 島 茂 田 佐 田 岡 野 濱 藤 柳 本 橋 川 合 井	幸 道 俊 憲 伸 幸 五	展 夫 彦 満 一 純 省 一 伸 郎 俊 豪 敏 篤 毅 匡 夫 文
哲 学 ・ 倫 理 学	〃				
法 学 ・ 社 会 学	准教授				
情 報 科 学	講師				
数 理 学	教授				
物 理 学	〃				
化 学	〃				
生 物 学	〃				
英 語	〃				
運 動 科 学	准教授				
神 經 内 科 学	教授				
産科周産期科学(兼)	〃				
形 成 外 科 学	〃				
医 療 薬 学	〃				
機 器 診 断 学 (兼)	〃				
病 理 診 断 学	〃				
リハビリテーション医学	〃				
救急集中治療医学	〃				

基礎医学部門 (13講座)

解 剖 学 第 一 講 座	教授	辰 巳 治 之
解 剖 学 第 二 講 座	教授	(選 考 中) 嗣 夫
生 理 学 第 一 講 座	教授	(選 考 中) 夫
生 理 学 第 二 講 座	教授	(選 考 中) 志 均
生 化 学 第 一 講 座	教授	(選 考 中) 弘 幸
生 化 学 第 二 講 座	教授	(選 考 中) 道 満
病 理 学 第 一 講 座	教授	佐 藤 昇 典 暢 嘉 宣 博
病 理 学 第 二 講 座	〃	澤 藤 田 井 尾 林 本
微 生 物 学 講 座	〃	
薬 理 学 講 座	〃	
衛 生 学 講 座	〃	
公 衆 衛 生 学 講 座	〃	
法 医 学 講 座	〃	

臨床医学部門 (20講座)

内 科 学 第 一 講 座	教授	篠 村 恭 久
内 科 学 第 二 講 座	〃	島 本 和 弘 明
内 科 学 第 三 講 座	〃	高 橋 洋 司 郎
内 科 学 第 四 講 座	〃	新 平 公 哲 彦
外 科 学 第 一 講 座	〃	樋 田 上 下 敏 清
外 科 学 第 二 講 座	〃	山 金 藤 裕 幸
整 形 外 科 学 講 座	〃	寶 齋 堤 大 山 塚 水
脳 神 經 外 科 学 講 座	〃	
産 婦 人 科 学 講 座	〃	
小 児 科 学 講 座	〃	
眼 科 学 講 座	〃	
皮 膚 科 学 講 座	〃	
泌 尿 器 科 学 講 座	〃	
耳 鼻 咽 喉 科 学 講 座	〃	

神経精神医学講座	教授	齋藤利和
放射線医学講座	〃	晴山雅人
麻酔学講座	〃	並木昭義
地域医療総合医学講座	〃	山本和利
臨床検査医学講座	〃	渡邊直樹
口腔外科学講座	〃	平塚博義

○ 医学部教育研究機器センター

所長(兼)	教授	藤井暢弘
分子医学研究部門 部門長	〃	濱田洋文
分子機能解析部門 部門長	〃	小海康夫
ラジオアイソトープ研究部門 部門長(兼)	〃	小林宣道

○ 医学部動物実験施設部

部長(兼)	教授	澤田典均
副部長	准教授	磯貝浩

○ 医学部附属がん研究所

所長(兼)	教授	時野隆至
生化学部門	〃	佐々木輝捷
分子生物学部門	〃	時野隆至
分子病理病態学部門	〃	三高俊広

○ 医学部附属臨海医学研究所

所長(兼)	教授	當瀬規嗣
副所長	准教授	高橋延昭

◎ 保健医療学部

学部長(兼)	教授	丸山知子
副学部長(〃)	教授	乾公美一
〃(〃)	〃	傳野隆一

看護学科

学科長(兼)	教授	稲葉佳枝
基礎・臨床医学講座	〃	傳野隆一
〃	〃	笠井潔
看護学第一講座	〃	稲葉佳江
〃	〃	片岡秋子
看護学第二講座	〃	丸山知子
〃	〃	蝦名美智子
〃	〃	猪俣千代子
看護学第三講座	〃	波川京子
〃	〃	奥宮暁子
〃	〃	吉野淳一

理学療法学科

学科長(兼)	教授	乾公美
基礎理学療法学講座	〃	武田秀勝
〃	〃	内山英一
臨床理学療法学講座	〃	乾公美
〃	〃	小塚直樹
〃	〃	片寄正樹

作業療法学科

学科長(兼)	教授	澤田雄二
基礎作業療法学講座	〃	澤田雄二
〃	〃	坪田貞新
臨床作業療法学講座	〃	村上山石
〃	〃	仙田
〃	〃	池田

一般教育科

科長(兼)	教授	根本慎
物理学	〃	松嶋範男
化学	〃	藤井博
英生物語学	〃	根本慎子
生 物 学	准教授	山田恵
情報科学	〃	大柳俊義
心 理 学	〃	高橋義良
社会 学	〃	高道信

◎ 附属病院

病院長(兼)	教授	島本和明
副院長(〃)	教授	塚本本司
副院長(〃)	〃	寶金清康
副院長(〃)	看護部長	鈴木

診療科(23科970床)

第一内科長(兼)	教授	篠村恭久
第二内科長(〃)	〃	島本和弘
第三内科長(〃)	〃	高橋津司
第四内科長(〃)	〃	新下濱俊一
神経内科長(〃)	〃	平津田公哲
第一外科長(〃)	〃	樋田上
第二外科長(〃)	〃	山 下
整形外科長(〃)	〃	山 金
脳神経外科長(〃)	〃	寶齋藤
婦人科長(〃)	〃	齋藤豪
産科周産期科長(〃)	〃	堤 裕
小児科長(〃)	〃	大山黒
眼科長(〃)	〃	山 下
皮膚科長(〃)	〃	四ツ柳
形成外科長(〃)	〃	塚本
泌尿器科長(〃)	〃	氷見
耳鼻咽喉科長(〃)	〃	齋藤
神経精神科長(〃)	〃	晴山
放射線科長(〃)	〃	並木
麻酔科長(〃)	〃	山本
総合診療科長(〃)	〃	山塚
歯科口腔外科長(〃)	〃	平合
リハビリテーション科長(〃)	〃	石

薬剤部

部長(兼)	教授	宮本篤
-------	----	-----

検査部

部長(兼)	教授	渡邊直樹
-------	----	------

機器診断部

部長(兼)	教授	高橋弘毅
-------	----	------

病理部

部長(兼)	教授	長谷川匡
-------	----	------

放射線部

部長(兼)	教授	晴山雅人
-------	----	------

手術部

部長(兼)	教授	山下敏彦
-------	----	------

部	長(兼)	教授	氷	見	徹	夫
リハビリテーション部						
部	長(兼)	教授	石	合	純	夫
救急集中治療部						
部	長(兼)	教授	浅	井	康	文
中央写真室						
室	長(兼)	教授	長	谷	川	匡
臨床工学室						
室	長(兼)	教授	寶	金	清	博
医療安全推進室						
室	長(兼)	教授	寶	金	清	博
感染管理室						
室	長(兼)	教授	渡	邊	直	樹
診療情報室						
室	長(兼)	教授	寶	金	清	博
看護部						
部	長		鈴	木	康	世

部	長(兼)	教授	並	木	昭	義
	(〃)	〃	森			満
	(〃)	〃	吉	野	淳	一

部	長(兼)	教授	齋	藤	利	和
	(〃)	〃	森	岡		伸
	(〃)	〃	乾		公	美

所 長 (兼)	教授	佐藤 昇	志
副 所 長		原 田	敏
副 所 長 (兼)	講師	明 石 浩	史

所 長(兼)	教授	濱 田 洋 文
副 所 長		関 戸 博 行
副 所 長(兼)	准教授	石 埜 正 穂

名	譽	教	授	末	吉	利	三
名	譽	教	授	和林	田	壽	郎
				福	嶋	畚	義
				田	中	豁	行
				三	橋	公	護
				高	橋	長	平
				塚	田	英	雄
				寺	山	良	之
				三	木		雄
				漆	崎	一	毅
				早	坂	正	朗
				橋	本		湜
				三	成	杏	淑
				高	橋	悅	脩
				熊	本	一	三
				黒	川	守	明
				福	田		郎

[illegible]名 譽 博 士 Pierre CHAMBON

(7) 専任職員数

(平成19年6月1日現在)

ア 総括表

(単位：人)

			計	学	医 学 部						保健医療学部				附 属 病 院	事 務 局	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	監 査 室
				長	医 学 科				教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	附 属 が ん 研 究 所	附 属 臨 海 医 学 研 究 所	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科	作 業 療 法 学 科	一 般 教 育 科			
					学 科 目 (教 養 教 育 科 目)	学 科 目 (専 門 教 育 科 目)	基 礎 医 学 部 門	臨 床 医 学 部 門											
教 育 職	学 教 准 講 助 助	長 授 授 師 教 手	1 70 70 79 152 12	1		6 5 7 2	6 4 8 17	10 14 11 19	20 22 42 102	2 2 1 2 1	3 1 1 5	1 1 1	10 9 5 1 6	5 3 1 1 2	5 4 1 2 1	3 4		1 1	
	計		384	1	20	35	56	186	8	1	10	2	31	12	13	7		2	
	局 長 ・ 部 長	課 長 等 ・ 主 幹	3														3		
	一 般 事 務 職	技 術 員	24														20	1	2
	技 術 員	運 転 技 術 員	104														97	2	3
	守 衛 員	飼 育 員	17						1								12		
一 般 職	司 理 員	補 助 員	5														5		
	電 動 物 飼 育 員	書 庫 員	2														2		
	研 究 補 助 員	研 究 補 助 員	1																
	電 話 交 換 手	電 話 交 換 手	12		2		3	3	2		1						12		
	ボ イ ラ ー 技 術 員	ボ イ ラ ー 技 術 員	12														1	1	
	電 話 交 換 手	電 話 交 換 手	11															7	
	ボ イ ラ ー 技 術 員	ボ イ ラ ー 技 術 員	7															8	
	技 術 員	技 術 員	8				1	1	2								4		
	薬 剤 補 助 員	薬 剤 補 助 員	4														4		
	看 護 助 手	看 護 助 手	8														6	2	
計 (1)			230		2		4	4	6	3	1						21	168	15
医 療 職	獣 医 師	獣 医 師	1							1									
	栄 養 士	栄 養 士	5															5	
	臨 床 工 学 技 士	臨 床 工 学 技 士	6														6		
	臨 床 検 査 技 師	臨 床 検 査 技 師	53						2		1						50		
	衛 生 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	2								2								
	薬 剤 師	薬 剤 師	27														27		
	診 療 放 射 線 技 師	診 療 放 射 線 技 師	47						4								43		
	理 療 訓 練 員	理 療 訓 練 員	3														3		
	歯 科 衛 生 士	歯 科 衛 生 士	4														4		
	歯 科 技 術 工 士	歯 科 技 術 工 士	3														3		
看 護 職	視 能 訓 練 士	視 能 訓 練 士	2														2		
	理 学 療 法 士	理 学 療 法 士	5														5		
	作 業 療 法 士	作 業 療 法 士	3														3		
	言 語 聴 覚 士	言 語 聴 覚 士	1														1		
計 (2)			162						6	1	3						147	5	
看 護 職	看 護 師	看 護 師	636														636		
	助 産 師	助 産 師	26														26		
	准 看 護 師	准 看 護 師	10														10		
計 (3)			672														672		
(1) + (2) + (3)			1,064		2		4	4	12	4	4						840	173	15
総 計			1,448	1	22	35	60	190	20	5	14	2	31	12	13	7	840	173	17

※職員数は、再任用職員を含む

イ 教養教育科目職員数

(単位：人)

所 属			学 科 目 (教養教育科目)										
			心 理 学	哲 学 ・ 倫 理 学	法 学 ・ 社 会 学	情 報 科 学	数 学	物 理 学	化 学	生 物 学	英 語	運 動 科 学	計
職 種	教 育	授 授 師 教 手	1 1 1	1	1	1	1	1 2	1 1 1	1 2	1 1 1	1	6 5 7
	職	計	3	1	1	1	1	3	3	3	3	1	20
一 般 職	研 究 補 助 員	員	1					1					2
	技 能 計		1					1					2
合 計			4	1	1	1	1	4	3	3	3	1	22

ウ 専門教育科目職員数

(単位：人)

所屬講座			基礎医学部門（講座）													
			解剖学第一	解剖学第二	生理学第一	生理学第二	生化学第一	生化学第二	病理学第一	病理学第二	微生物学	薬理学	衛生学	公衆衛生学	法医学	計
職 種	教 育	授 教 准 教 講 助 師 助 教 手	1		1		1		1	1	1	1	1	1	1	10
			1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	14
職 種	一 般 職	計	1	1			1		2	1	1		1	2	1	11
			1	1	1	1	2	3	1	1	2	2	1	1	2	19
職 種	一 般 職	計	5	3	3	3	5	4	5	5	5	4	5	5	4	56
					1						1			1		3
職 種	一 般 職	計		1												1
				1	1						1			1		4
合 計			5	4	4	3	5	4	5	5	6	4	5	6	4	60

(単位：人)

所属講座			臨床医学部門（講座）																				
			内科学第一	内科学第二	内科学第三	内科学第四	外科学第一	外科学第二	整形外科	脳神経外科学	産婦人科学	小児科学	眼科学	皮膚科学	泌尿器科学	耳鼻咽喉科学	神経精神医学	放射線医学	麻酔学	地域医療総合医学	臨床検査医学	口腔外科学	計
職 種	教 育	授 准 教 授 師 助 手	1156	1246	1126	1227	1137	1123	1234	1125	1127	126	115	1215	1135	1116	1115	1125	1124	1114	1121	1116	202242102
			職 種	計 補 助 員	13	13	10	12	11	10	9	8	9	10	9	8	9	9	9	9	6	4	9
一般職	研 究 員	計 補 助 員	1												11		1						314
			合 計	14	13	10	12	11	10	9	8	9	10	9	8	11	9	9	10	9	6	4	9

(単位：人)

所 属			学 科 目 (専門教育科目)							
			神 経 内 科 学	産 科 周 産 期 科 学	形 成 外 科 学	医 療 薬 学	機 器 診 断 学	病 理 診 断 学	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	救 急 集 中 治 療 医 学
職 種	教 育	授 授 師 教 手	1 1 2	1 2	1 2	1		1 1 1	1 1 1	1 2 8
			6 4 17							
職 種	一 般 職	計	4	3	3	1	2	4	3	15
			35							

工 保健医療学部職員数(単位：人)

所 属 職 種		看護学科				理学療法学科		作業療法学科		一 般 教 育 科	計
		基礎 臨床医学	看護学 第一	看護学 第二	看護学 第三	基礎理 学療法 学	臨床理 学療法 学	基礎作 業療法 学	臨床作 業療法 学		
教	教	2	2	3	3	2	3	2	3	3	23
育	准 教	2	3	2	2	2	1	4		4	20
職	講 助		2	1	2	1			1		7
	手			1	1		1	1	1		4
	助 手		2	2	2	1	1		1		9
合 計		4	9	8	10	6	6	7	6	7	63

オ 附属病院及び事務局職員数

(単位：人)

所 属		大 学 附 属 病 院																	
		薬 剤 部	検 査 部	機 器 診 断 部	病 理 部	放 射 線 部	医 療 材 料 部	リハビリテーション部	救急集中治療部	看 護 部	中 央 写 真 室	臨 床 工 学 室	医療安全推進室	感 染 管 理 室	診 療 情 報 室	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	歯 科 口 腔 外 科	計
職 種	一 般 事 務 職 員								2										2
	技 電 気 技 能 員									4									4
般 職	薬 剤 補 助 員	4	1		1	2						1							1
	看 護 助 手								6										4
	計	4	1		1	2			8	4	1								6
医 療 職	臨床工学技士					2													21
	臨床検査技師	27	35	10	5						6								6
	診療放射線技師					43													50
	理学療法士							5											27
	作業療法士							3											43
	理学療法士							3											5
	訓練士																		3
	衛生士																		3
	技工士																		4
	訓練士																		4
	聴覚士																		2
	言語士															2			1
	計	27	35	10	5	43		11			6					2	1	7	147
看 護 職	看護師								631			2	1	2					636
	助産師								26										26
	計								10										10
	合 計	31	36	10	6	45		11		675	4	7	2	1	2	2	1	7	840

所 属 職 種		事 務 局								計
		局 長 ・ 部 長	総 務 課	経 営 企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	業 務 課	
一	局長・主幹	3								3
般	一般事務職員		5	2	4	4	2	1	2	20
職	技守運転技術補助員		28	10	15	20	9	8	7	97
	研究補助員		11		1	5				12
	電話交換技師		2							5
	ボイラー技師				1	11				2
	看護助手		7							11
	計		8							7
	栄 養 士		1						1	8
	計	3	62	12	21	40	11	9	10	168
医	栄 養 士					5				5
療	計					5				5
合 計		3	62	12	21	45	11	9	10	173

(8) 医学部・保健医療学部的主要研究題目

ア 医学部

基	解剖学第一講座	- 消化管の超微形態学および三次元的解析 - 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 - ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 - インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 - 神経培養による神経細胞の特性の解析 - 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) - Multi-Language Digital Anatomical Database (情報G7 サブプロジェクト8) - 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 - 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解剖学第二講座	- マクロから顕微鏡レベルまでの解剖学、形態学的研究、組織化学的研究 - 人骨資料を用いた形態人類学的研究 - 生体の各部位に生ずる運動や力を、物理・工学的手法を用い解明するバイオメカニクス研究
礎	生理学第一講座	- 発生期心筋におけるイオンチャネルの機能・構造の変化に関する研究 - 心筋・平滑筋細胞のカルシウム動態とイオンチャネル活動の連関に関する研究 - 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	生理学第二講座	- 起立・歩行運動の中枢神経機序 - 脊髄傷害後の運動機能代償機序 - 中枢シナプス伝達の可塑性に関する研究 - 海馬シナプス伝達に及ぼす麻酔薬の作用
医	生化学第一講座	- 糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究 - 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 - コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 - 受容体の構造と機能に関する研究 - 肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究
	生化学第二講座	- 膜脂質シグナル系の制御機構 - ジアシルグリセロールキナーゼ - ホスファチジン酸ホスファターゼ - 細胞骨格再構成系の制御機構 - 上皮増殖因子受容体とインスリン受容体の生理活性脂質を介した制御機構 - アポトーシスに關与する生理活性脂質
学	病理学第一講座	- 腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発 - 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 - 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 - 胸腺上皮による免疫寛容誘導機構 - リンパ球抗原と機能 - 移植片拒絶の制御機構 - 分子シャペロンと神経細胞変性機構 - アポトーシスの分子機構 - 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 - シグナル伝達機構 - 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 - 遺伝子診断と分子病理 - 寄生虫病と分子病理 - 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 - 重力医学、宇宙医学
	病理学第二講座	- 生体バリアの分子病理学 - 粘膜の生体防御と病態生理 - 鼻粘膜とタイト結合 - 肝細胞のギャップ結合調節機構 - 肝疾患と血液胆汁関門 - シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 - 上皮細胞の極性形成機構 - 細胞間隙における分子通過機構 - 血液組織関門の制御機構 - 核内ステロイド受容体群の新規作用 - 発がん過程における上皮構築破綻の機序 - 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
部	門	

基 礎 医 学 部 門	微生物学講座	1 病原微生物の病原因子に関する研究 2 ウイルス感染によるサイトカイン、及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究 3 細胞分化に伴うインターフェローンシステムの变化 4 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与 5 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析、及びプリオン蛋白蓄積機構の解明
	薬理学講座	1 老化の科学的解明 2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義
	衛生学講座	1 ウイルス性下痢症の分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行に関する時系列解析
	公衆衛生学講座	1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究 6 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究
臨 床 医 学 部 門	法医学講座	1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構 2 アルコール性・非アルコール性臓器障害の発生・進展機序 3 飲酒マーカーの探索と応用 4 アルコールの寿命に及ぼす影響 5 アルコール代謝酵素多型と作用の関係 6 アルコール関連死の病態機序 7 突然死の分子機構と診断法の開発 8 死因究明制度研究 9 死に関連する法制度研究
	内科学第一講座	1 消化器癌のゲノム情報に基づく遺伝子診断および遺伝子治療 2 アポトーシスの応用による癌の遺伝子治療 3 癌の新しい分子標的治療の開発 4 潰瘍性大腸炎・クローン病の再生治療、免疫治療 5 消化器癌の拡大内視鏡診断・超音波内視鏡診断と生検材料を用いた遺伝子診断 6 肝・胆・膵領域における新しい画像診断および遺伝子を基盤とした治療 7 消化管癌における新しい癌化促進分子機構の解明と臨床応用 8 消化器癌進展（浸潤・転移）分子機構と遺伝子診断・治療応用 9 肝癌における前癌病変の発生機序とその阻止に関する研究 10 I V Rを用いた癌に対する新しい標的免疫治療の開発 11 自己免疫疾患の感受性遺伝子（SNP）解明 12 自己免疫疾患の新しい治療法の開発 13 アレルギー疾患の新しい治療法の開発 14 後天性免疫不全症候群の遺伝子診断および遺伝子治療 15 糖尿病・甲状腺疾患の分子生物学的研究と新治療法の開拓 16 心療内科学と免疫・内分泌・神経アキシス
	内科学第二講座	1 本態性・各種2次性高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病・高脂血症の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究 11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究 12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 14 各種血液浄化法に関する臨床的研究 15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究 16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究

臨	内科学第三講座	1 特発性間質肺炎の診断、病態、治療に関する研究
		2 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究
		3 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究
		4 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究
		5 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究
		6 気管支喘息の病態、治療に関する研究
		7 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究
		8 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究
		9 各種肺疾患の三次元的病態像の解析
		10 臨床C T、MR I、超音波像の解析
		11 肺気腫の診断、病態に関する研究
		12 H R C Tをもちいた末梢気道立体構築の研究
床	内科学第四講座	1 骨髄幹細胞を用いた再生医療、人工骨髄開発に関する研究
		2 大腸癌発生に関わるaberrant crypt foci に関する研究
		3 T G F - β のシグナル伝達機能と疾病に関する研究
		4 アルコール性肝障害における線維化の成因に関する研究
		5 C型肝炎の治療抵抗性因子としての鉄過剰とその治療法に関する研究
		6 潰瘍性大腸炎の発症機序に関する研究
		7 血小板産生調節機構に関する研究
		8 慢性関節リウマチ・潰瘍性大腸炎・劇症肝炎に対する遺伝子治療法の基礎的研究
		9 抗転移療法の開発研究
		10 薬剤耐性遺伝子を用いた骨髄保護療法の開発
		11 悪性腫瘍に対する特異的D N Aワクチンの開発
		12 酸化的D N A損傷と発がんに関する研究
		13 白血病細胞におけるアポトーシスシグナルに関する研究
		14 アルゴンプラズマレーザを用いた消化管病変の治療
		15 肝胆膵悪性腫瘍に対するInterventional therapyによる臨床研究
		16 抗V L A 4抗体を用いた急性骨髄性白血病の治療に関する研究
		17 ヒト間葉系幹細胞を用いた肝再生機構に関する研究
		18 肝線維化に関する研究
学	外科学第一講座	1 肝不全発生機序と人工肝開発
		2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術
		3 固形癌に対するがんワクチン免疫療法に関する臨床研究
		4 消化器癌術後特異的免疫能変動に関する基礎的・臨床的研究
		5 腹腔鏡手術における手術手技および手術器具の研究
		6 肝再生医学における遺伝子治療の導入
		7 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究
		8 臓器肝移植における再灌流障害発生予防に関する研究
		9 アシアログリコプテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究
		10 固型癌術後療法とD N Aアレイおよびプロテオミクスに関する研究
		11 心臓死からのグラフト肝摘出に関する研究
		12 ラジオ波焼灼を使用した肝切除後の肝再生分子機序に関する研究
		13 過冷却超低温技術による全肝臓器保存法の開発研究
		14 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究
		15 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究
		16 消化器癌・乳癌の転移・治療に関する分子生物学的研究
		17 胃癌の転移形式の差に関わる分子機構に関する研究
		18 大腸癌再発危険因子の基礎的・臨床的研究
		19 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究
		20 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究
		21 重傷感染症に対するヒトグロブリンの投与効果と侵襲因子の同定に関する臨床研究
部	外科学第二講座	1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究
		2 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法と術式確立の研究
		3 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討
		4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究
		5 重症心機能低下症例に対する術後補助手段と人工心臓、心移植の研究
		6 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究
		7 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究
		8 胸壁浸潤性肺癌に対する温熱療法の確立
		9 肺癌に対する外科治療の拡大、縮小手術適応に関する研究
		10 心臓及び肺移植に対する免疫抑制法、保存法の研究
		11 弁膜疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究
		12 重症不全心に対する左室形成術の研究
		13 弁膜症に対するHomograft弁の保存法と臨床応用の研究
		14 虚血肢に対する遺伝子治療の基礎的・臨床的研究
		15 虚血心筋に対する再生治療の研究
		16 完全内視鏡下における人工血管置換術
		17 感染性心内膜炎・感染人工血管に対するヒト組織移植の研究
		18 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究
		19 石灰化大動脈弁における弁形成術の研究
		20 ロート胸における呼吸機能の研究

臨 床 医 学 部 門	整形外科学講座	1 骨肉種の成因に関する免疫学的・分子生物学的研究 2 微小血管外科による組織移植の研究 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 関節の固有感覚受容器に関する研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する研究 6 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究 7 軟骨細胞、神経細胞のイオンチャネルに関する研究 8 成長因子の遺伝子導入による骨再生の研究 9 同種四肢移植に関する研究 10 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫療法の開発 11 脊髄機能再生に関する研究 12 スポーツ障害と外傷の予防と治療 13 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立
	脳神経外科学講座	1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPI を用いた functional MRI などの新しい画像診断システムの開発 3 脳健診による脳疾患の予防的治療法の確立 4 グリオーマの免疫療法の研究 5 脊髄損傷の基礎研究 6 血管内手術の基礎的研究 7 脳動脈瘤の遺伝子解析 8 神経幹細胞移植に関する研究 9 脊髄誘発電位の臨床応用 10 神経損傷時の再生に関する研究 11 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 12 術中脳腫瘍標識法の基礎的研究 13 未破裂脳動脈瘤のリスクコミュニケーション研究 14 リスクマネジメント研究
	産婦人科学講座	1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 婦人科疾患の超微形態学的研究 8 子宮内膜症の分子生物学的検討 9 卵巣癌での薬剤耐性克服 10 婦人科癌の病理形態と悪性度に関する研究
	小児科学講座	1 ウイルス性胃腸炎に関する研究 2 R S ウイルス感染症に関する研究 3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究 4 クラミジア感染症に関する研究 5 小児神経筋疾患に関する研究 6 小児難治性てんかんに対する迷走神経刺激療法 7 新しいカテーテルインターベンション法の開発 8 川崎病の原因に関する研究 9 パルボウイルス B 1 9 感染症に関する研究 10 造血細胞移植に関する研究 11 腫瘍免疫療法に関する研究
	眼科学講座	1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 ボツリヌス毒素を用いた外眼筋麻痺の治療に関する研究 5 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発 6 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮膚科学講座	1 皮膚メラニン機構の生物学的・分子生物学的機序の解明 2 メラニン形成関連遺伝子の構造と機能の解析 3 皮膚癌・悪性黒色腫の化学療法と標的分子治療法の開発 4 皮膚色素異常症の病態・治療法の分子生物学的アプローチ 5 皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究とその臨床応用 6 皮膚腫瘍の微細構造の画像化と3次元解析 7 紫外線生物学と色素性乾皮病の遺伝子診断 8 メラノーマにおけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 9 皮膚ウイルス感染症の病態に関する研究

臨 床 医 学 部 門	泌尿器科学講座	1 男子性機能の研究 2 男子不妊症の成因と治療の研究 3 泌尿生殖器腫瘍学 4 癌免疫 5 前立腺肥大症の発症機序と尿水力学の研究 6 尿路・性器感染症の疫学、発症機序と治療の研究、特に尿路粘膜免疫学 7 尿路再生・再建医学 8 腎移植・移植免疫
	耳鼻咽喉科学座	1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究
	神経精神医学座	1 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究 2 神経新生と神経回路網からみた内因性精神疾患（気分障害・統合失調症）の発症と病態に関する研究 3 アルツハイマー病の病態並びに治療法開発（新規向知性薬の探索）に関する研究 4 ヒト高次認知機能と視空間成立機構に関する神経心理学的研究 5 摂食障害の病態解析：低栄養がひきおこす脳神経回路網障害と嗜癖行動の関連性に関する研究 6 国際ネットワークに基づくブレインバンクの構築に関する研究 7 ニコチン依存の心理社会的影響に関する調査 8 集団精神療法および自助グループに関する臨床研究 9 コンサルテーション・リエゾン精神医学（緩和医療も含む）に関する研究
	放射線医学講座	<IVR>部門 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 悪性腫瘍の進展度に関する画像診断を用いた研究 3 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 4 悪性腫瘍に対するIVRおよび化学・放射線併用療法の研究 5 集束超音波エネルギーを用いた悪性腫瘍の治療法の研究 <核医学部門> 1 移動性のある臓器における融合画像の研究 2 救急領域における核医学検査の適応拡大に関する研究 <治療部門> 1 腫瘍関連抗原の発現に対する放射線の効果に関する研究 2 放射線によるアポトシスの分子機構に関する研究 3 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 <診断部門> 1 肝陰性造影剤を用いた拡散強調画像による微小肝転移描出の研究 2 脾高分解能抗散強調画像に関する研究 3 骨盤臓器の癒着の術前評価の至適撮像法に関する研究 4 MR mammography と病理組織像の比較研究 5 MR angiography による微小血管描出に関する研究 6 C T angiography と血管造影像と比較研究 7 ヨード造影剤の遅発性副作用に関する臨床調査・研究 8 D I C O M画像の医学教育利用に関する研究 9 三次元画像処理法の開発・研究 10 医用デジタル画像保管ネットワークに関する実験・研究 11 遠隔地画像診断実用化に関する研究
門	麻酔学講座	1 中枢神経系における各種麻酔薬の作用機序 2 脊髄における鎮痛機序 3 筋弛緩薬の各部位での作用効果 4 虚血心、培養心筋、摘出心筋を用いての各種麻酔薬の作用機序 5 各種麻酔薬の血管、気管平滑筋、横隔膜、喉頭筋群に及ぼす作用効果と機序 6 敗血性ショックにおける体液性因子の影響 7 生体侵襲に対する生体管理学
	地域医療総合医学講座	1 Common diseases の診断とマネジメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究

臨 床 医 学 部 門	臨 床 検 査 医 学 講 座	1 生体のストレス応答に関する研究 2 生体内微量活性物質（サイトカイン等）の高感度検出法に関する研究 3 消化器癌および造血器悪性腫瘍の遺伝子診断法に関する研究 4 細胞の不死化・老化に関する研究 5 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究 6 輸血検査の精度向上に関する研究 7 抗菌薬の作用機序に基づいた効果増強に関する研究 8 遺伝子タイピングによる院内感染対策に関する研究
	口腔外科学講座	1 口蓋形成手術前後の鼻咽喉機能と口蓋形態並びに、それに基づく手術法及び、顎裂部に対する骨移植に関する研究 2 口腔癌の細胞接着分子に関する研究 3 口腔癌の組織学的悪性度に関する研究 4 口腔癌の免疫治療に関する研究 5 口腔癌の化学放射線治療に関する研究 6 口腔インプラントによる咀嚼機能回復に関する研究 7 口腔癌の遺伝子診断及び遺伝子治療に関する研究 8 顎骨骨折患者の咬合咀嚼機能の回復に関する研究 9 顎関節症、顎変形症患者における咀嚼筋の生理機能に関する研究
	神 経 内 科 学	1 筋萎縮性側索硬化症やポリオ後症候群の呼吸障害の病態解明への横隔神経伝導検査の臨床応用 2 経頭蓋的磁気刺激の中枢性疼痛治療への応用 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸不全に対する非侵襲的呼吸療法の検討 5 多系統萎縮症の睡眠時声帯閉大障害の病態生理と治療法の研究 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRT1の機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの細胞死のメカニズムの検討 8 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症のニューロン死機序の解明および細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 9 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究
	産科周産期科学	1 卵巣過剰刺激症候群と血管内皮増殖因子に関する研究 2 卵膜の感染防御と子宮内感染に関する研究 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古とマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 糖代謝異常妊娠の基礎と臨床 6 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学的研究 7 環境ホルモンが異常妊娠に与える影響
	形 成 外 科 学	1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医 療 薬 学	1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	機 器 診 断 学	1 画像医学、生理生体検査医学、無侵襲生体計測学 2 超音波医学、臨床超音波工学 3 内視鏡診断と内視鏡下治療 4 生体信号地図に基づく循環電気生理学的研究 5 三次元画像処理、virtual realityの臨床応用、多元画像診断 6 画像認識と画像の計算機診断 7 知的画像診断支援 8 画像診断の客観評価 9 遠隔医学 10 医療情報学、病院情報システム学
	病 理 診 断 学	1 腫瘍の形態形成および悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析

臨床医学科	リハビリテーション医学	1 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション 2 動作、行為、行動に関わる神経機構解明 3 パーソナルコンピュータを用いた認知機能評価システム作成 4 疼痛の病態生理とコントロール 5 歩行障害の運動学的解析 6 神経筋疾患に対する車いすシーティング
	救急集中治療医学	1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の臨床的研究 2 人工心肺を用いた選択的脳低温療法の基礎的研究 3 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の臨床的研究 4 人工心肺を用いた心肺脳蘇生法に関する基礎的研究 5 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 6 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 7 重症患者における急性血液浄化法に関する基礎的、臨床的研究 8 ARDSに関する分子生物学的研究 9 ARDSにおけるサーファクタントの研究 10 航空機による救急搬送体制の研究 11 災害医療に関する研究 12 中毒薬理に関する神経科学的研究
教養教育部門	哲学・倫理学	1 医学哲学・生命倫理学研究 2 科学論研究 3 19世紀以降のヨーロッパ思想史の研究
	心理学	1 心臓血管系血行力学および自律神経調節機能の無侵襲計測に関連する心理生理学研究 2 心理社会的ストレスに関する心理生理学的研究 3 ストレスマネジメントの心理生理学的研究
	法学・社会学	1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 生命誕生や死の迎え方など生命倫理に関する基礎的テーマについての研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理
	数学	1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論
	物理学	1 放射線防護と緊急被曝医療 2 放射線医学物理 3 膜タンパク質の存在様式の電子顕微鏡による研究
	化学	1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 アポトーシス誘引脂質の合成酵素に関する研究 3 カルモジュリンの立体構造のX線解析による解析研究
	生物学	1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 皮膚色素細胞の光応答の分子機構に関する研究 3 動物の行動発現の生理的作用機序の研究 4 線虫類の系統分類学・生態学的研究
	情報科学	1 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 2 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究
	英語	1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論
	運動科学	1 生活習慣病の予防および体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者のADL低下抑制と体力、身体活動の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、ならびに摂食障害に関する研究
教育研究機器センター	分子医学部	1 遺伝子治療のための基盤技術の開発 2 がんに対する遺伝子治療法の開発 3 難治疾患に対する再生治療・遺伝子治療 4 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用
	分子機能部	1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 癌の治療応答性検出システムの開発 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
動物実験施設部		1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構 4 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 5 Helicobacter pyloriによる消化性潰瘍の発病機序解析

がん研究所	生 化 学 部 門	1 非受容体型タンパク質チロシンキナーゼ、CAK β 、の活性化機序とシグナル伝達における役割に関する研究 2 焦点接着に局在するタンパク質、Hic-5、の機能に関する研究 3 軸索ガイダンス分子セマフォリンの神経回路形成過程における機能解析
	分子生物学部門	1 ヒト癌の発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の機能の解明 3 p53標的遺伝子の単離と機能解析、p53およびそのファミリー遺伝子群の機能解析 4 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析 5 Ewing肉腫/PNETの発生機序、ETS群遺伝子とがん細胞の浸潤・転移 6 ウイルスベクターを用いたがんの遺伝子治療の基礎研究 7 癌における後成的遺伝子修飾の解析
	分 子 病 理 病 態 学 部 門	1 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝臓の組織再構築に関する研究 2 幹（前駆）細胞に関する研究 3 細胞接着に関する研究 4 細胞外基質と疾患に関する研究 5 人工肝臓の基礎的研究
	臨海医学研究所	1 海洋生物由来抗腫瘍物質（腫瘍血管新生阻害作用）に関する研究 2 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析 3 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索 4 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究 5 抗原提示細胞における抗原提示機構に関する解析

イ 保 健 医 療 学 部

看護学科	基礎・臨床医学座 講	1 ウイルス感染腫瘍の分子病理学的研究 2 消化器癌の転移に関する研究および消化器癌術後の病態生理に関する研究 3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究 4 超音波の生体に及ぼす影響に関する研究 5 保健医療情報管理に関する研究
	看護学第一講座	<基礎看護学> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 <成人看護学> 1 救急看護教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 リラクゼーション（腹式呼吸およびその他の技法）の介入に関する研究 4 ターミナルケアに関する研究 5 慢性病患者の病いに関する研究
	看護学第二講座	<母性看護学／小児看護学> 1 周産期女性の心理社会的要因に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援の実践 4 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 5 小児の遊びと発達支援に関する研究 6 病児へ医療処置を説明することとプレパレーション 7 病児をもつ保護者への健康と禁煙支援 8 ヘルスケア向上の医療・看護提供サービスシステムの設計・開発・検証
	看護学第三講座	<地域看護学> 1 基礎教育における保健師の技術教育に関する研究 2 保健師活動の理論と実践に関する研究 3 保健師のキャリア発達に関する研究 4 育児支援に関する研究 5 精神障害者の家族支援に関する研究 6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 7 コミュニティ・アセスメントに関する研究 8 地域看護活動におけるマルチメディア活用についての研究 9 海外渡航者の健康に関する研究 10 社会的健康被害者に関する研究 <老人看護学> 1 可動性が低下した高齢者への看護援助に関する研究 2 認知症高齢者の看護援助に関する研究 3 リハビリテーション看護の専門性の確立に関する研究 4 神経難病のケアの構築に関する研究 <精神看護学> 1 精神障害を持つ人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究 4 患者－看護師関係に関する研究 5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究

理 学 療 法 学 科	基礎理学療法学座 講	1 運動習慣とNK細胞活性に関する研究 2 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 3 車いす/座位保持装置に関する研究 4 高齢者における姿勢保持に関する研究 5 上肢関節・靱帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 6 高齢者の運動機能と健康の関係 7 骨格筋の機能解剖学的研究
	臨床理学療法学座 講	1 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究 2 スポーツ外傷障害の予防と治療そしてリハビリテーションに関する研究 3 脳卒中の運動障害に関する臨床解剖学的研究 4 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 5 呼吸理学療法の効果に関する臨床的研究 6 超音波画像診断を応用した運動器障害理学療法診断に関する研究 7 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究
作 業 療 法 学 科	基礎作業療法学座 講	1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究 7 手指の屈筋腱滑走に関する超音波診断器機を用いた滑走距離の検討 8 母指伸筋腱滑走に関する超音波診断器機を用いた滑走距離の検討 9 演奏家における手指の機能障害に関する研究：調査・動作解析 10 手指における知覚再教育のための基礎研究：脱感作療法 11 指関節（IP, MP関節）における機械受容器の分布に関する研究
	臨床作業療法学座 講	1 地域精神保健領域における作業療法の方策に関する研究 2 精神障害領域における作業療法の臨床的効果に関する研究 3 軽度発達障害の障害構造の解明および治療方法の確立 4 神経精神障害の機構解明と治療に関する研究 5 高齢者、認知症患者及び精神病患者の視覚認知機能と作業療法に関する研究
一 般 教 育 科	物 理 学	1 蛋白質タンデムリピートの構造、機能および分子進化に関する研究 2 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究
	化 学	1 食細胞の生体防御機能の研究 2 非侵襲画像診断法の開発
	英 語	1 関連性理論に基づく発話の解釈 2 言語接触と変異—スコットランドの言語社会を中心として—
	生 物	1 細胞機能発現におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの役割 2 ビタミンB12の栄養学に関する研究 3 青年期の健康にかかわる調査とそれを基にした「食教育」に関する研究
	情 報 科 学	1 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究 2 デジタル映像処理と医療・保健応用に関する研究
	心 理 学	1 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	社 会 学	1 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療政策及び医療人類学研究 2 日本とアメリカの医学・医療系教育における多文化医療教育に関する研究

(9) 文部科学省GPの採択・実施状況

(平成19年9月10日現在)

ア 平成17年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育
(イ) 年次 : 平成17年度～平成20年度
(ウ) 概要
・ 学部生、大学院生の多様なニーズ、意欲にも対応できるよう、知財への関心喚起を狙いとした入門講座から、研究成果の実効的な技術移転を可能とする研究者の養成など、5つのコース別知財教育の取組を行う

イ 平成17年度地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム

- (ア) 事業名 : 地域の命を守る医療人養成プログラムの実践
(イ) 年次 : 平成17年度～平成19年度
(ウ) 概要
・ 地域医療に従事する医師が、大学病院の支援により、プライマリケア医としてふさわしい、地域に対応したスキルを身につけることにより、地域医療に不安なく取り組み、へき地医療への理解と関心を深める目的
・ 着任前における緊急時トレーニングや、着任後のサポートプログラムなどを構築

ウ 平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 高大一貫型プログラムによる効果的職業教育
(イ) 年次 : 平成18年度～平成20年度
(ウ) 概要
・ 高校と大学が密接に連携し、看護師・保健師、理学療法士、作業療法士の職業及びその社会的役割、並びに大学における教育の具体的な内容や臨床現場の実際について、高校3年生を対象としたプレ教育のためのe-Learningプログラムを開発
・ 入学後の学生を対象とし、大学のカリキュラムを履修するために必要となる物理学、生物学などの基礎科目のリメディアル教育のためのe-Learningプログラムを開発

エ 平成19年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 双方向型医療コミュニケーション教育の展開
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要
・ サイエンスカフェの医療版「メディカルカフェ」の実施により、学生の医療コミュニケーション能力の向上及び住民の医学・医療理解の推進。
○北海道医療大学と共同申請

オ 平成19年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

- (ア) 事業名 : 大学、メディア、行政が連携する「高齢者健康づくりリーダー」実践的養成プログラム
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要
・ 高齢者の健康づくり活動を担うOT、PT、看護師等の専門職の技術力向上及びリーダー養成プログラムの実施

カ 平成19年度特色ある大学教育支援プログラム

- (ア) 事業名 : 学部一貫教育による地域医療マインドの形成
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要
・ 両学部実施実習の合同化及び「地域医療合同セミナー」の創設により、系統的、継続的な地域医療教育を実施し、地域医療に貢献する医療人を育成。

キ 平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン

- (ア) 事業名 : 北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム
—大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指して
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要
・ 大学院教育での、単位互換をはじめ、講義や実習などの相互連携を促進するとともに、チーム連携機能の重要性に着目した合同カリキュラムを導入し、看護師、薬剤師などメディカル養成について、がん専門医師養成とあわせ、体系的コースを設定する。
また、地域の拠点病院と連携した実習や実地修練をはじめ、より地域実態に即した実践的な取組を行うとともに、インテンシブコースでは地域の職能団体や行政と連携、遠隔教育や出前講義なども実施、地域の専門家を育成する。
○北海道医療大学、北海道大学、旭川医科大学と共同申請

注) GPとは、各大学等が実施する教育改革の取組の中から、他の大学等の参考となるような優れた取組 (Good Practice) を選び、支援する文部科学省の大学教育改革促進のためのプログラムです。

(10) 国 際 交 流

ア 北方医学交流

北方圏諸国の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、北方圏諸国にふさわしい医学の教育機関として相互発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、平成11年度から、学生が国際的な視野を広げ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、学生の海外派遣を実施している。

	フィンランド	カナダ		中国	アメリカ
協 定 締 結 先	パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、オウル、 タペレ、クピオ大学)	アルバータ大学	カルガリー大学	中国医科大学	マサチューセッツ 州 立 大 学
開 始 年 度	1977	1983	1984	1982	1994
現 協 定期限	H19.6-24.5	H17.11-20.10	H17.7-20.6	H19.4-22.3	H19.4-22.3
派 遣	協 定 人 数 (年 間)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(2週間)
	派 遣 総 数	29名	33名	39名	21名
受 入	協 定 人 数 (年 間)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(2週間)
	受 入 総 数	29名	32名	39名	9名
そ の 他 の 協 定 の 概 要	・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、 受入大学側は適当な宿泊施設を手配する) ・研究成果の報告書の作成が必要。				
学 生 派 遣		【語学研修】 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名	【臨床研修(血液学)】 16年度 4名 17年度 4名 18年度 4名		

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている(日本人、外国人の区別はない)。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

14年度 15名 15年度 18名 16年度 13名 平成17年度 17名 平成18年度 10名

ウ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- | | |
|-----------------------|--|
| (1) 会議室(1室)、研修室(2室) | セミナーや共同研究に使用する。(研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室) |
| (2) 多目的ホール(2室) | 国際友好・交流に使用する多目的ホール |
| (3) 宿泊室(シングル3室、ツイン1室) | 外国人研究者が利用できる宿泊室 |

エ 教員在外研究等

国名・地域	派 遣 者 数		国名・地域	派 遣 者 数		国名・地域	派 遣 者 数		国名・地域	派 遣 者 数	
	18年度	17年度		18年度	17年度		18年度	17年度		18年度	17年度
【アジア】			ラオス	1	3	【ヨーロッパ】			フィンランド	5	4
インド	2	1	【中東】			アイルランド	0	1	フランス	2	7
インドネシア	1	1	トルコ	2	0	イギリス	9	6	ブルガリア	2	0
韓国	13	9	カタール	0	1	イタリア	6	4	ポルトガル	4	2
シンガポール	2	1	【アフリカ】			オーストリア	1	8	マケドニア	0	1
スリランカ	0	3	ザンビア	0	1	オランダ	2	3	ノルウェー	0	1
タイ	10	2	南アフリカ	0	1	ギリシャ	1	4			
台湾	2	2	モロッコ	0	2	スイス	2	5			
中国	9	7	【オセアニア】			スウェーデン	3	3			
バングラデシュ	2	1	オーストラリア	12	1	スペイン	7	1			
フィリピン	0	3	ニュージーランド	2	0	スロベニア	2	0			
ベトナム	4	4	マーシャル諸島	0	1	セルビア	2	1			
マレーシア	2	2	【北米】			チェコ	0	2			
ミャンマー	1	0	アメリカ合衆国	83	97	デンマーク	0	2			
モンゴル	1	0	カナダ	8	17	ドイツ	6	9	合 計	211	224

(11) 標 本 館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。

近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三 橋 公 平	(解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島 信之助	(法医学講座教授)
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊 地 浩 吉	(病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山 崎 英 雄	(生物学教授)
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫	(病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百 々 幸 雄	(解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高 橋 杏 三	(解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森 田 匡 彦	(法医学講座教授)
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐 藤 昇 志	(病理学第一講座教授)
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤 田 典 均	(病理学第二講座教授)
平成18年4月1日－現 在	辰 巳 治 之	(解剖学第一講座教授)

イ 概 況

(平成19年4月1日現在)

資 料	区 分	点 数
肉 眼 標 本	発 生 学	85
	解 剖 学	409
	病 理 学	470
	法 医 学	48
	薬 理 学	273
	皮 膚 科 学	50
	放 射 線 医 学	7
	寄 生 虫 学	46
	生 物 学 他	23
模 型	解 剖 学	38
光 顕 用 ス ラ イ ド 投 影 用 ス ラ イ ド	生 物 学	3,045
	解 剖 学	6,645
	病 理 学	29,883
	法 医 学	6
	内 科 学	40
	脳 神 経 外 科 学	101
	眼 科 学	105
	皮 膚 科 学	52
	寄 生 虫 学	403
	そ の 他	6
大 切 片 標 本	病 理 学	1,364
医療機器・医療機具	内 科 学 ・ 一 般 外 科 学 他	473
視 聴 覚 資 料	解 剖 学 ・ 眼 科 学 ・ 内 科 学 他	109
図 書	臨 床 X 線 写 真 診 断 学 大 系	64
	古 医 書 ・ 一 般 医 学 関 係 書	849
その他の医学資料	大 学 資 料 ・ 眼 科 学 他	456
合 計		45,050

ウ 利用状況

(平成18年度 単位：人)

利 用 の 内 訳	見 学	情 報 機 器 の 使 用	顕 微 鏡 の 使 用	ビ デ オ 教 材 の 使 用	セ ミ ナ ー 自 習
学 内	教 職 員	210	16	15	0
	学 生	322	202	0	870
学 外	医療関係者	3,409	0	0	1,546
計		3,941	218	15	1,546

2 学 事 事 項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年 度	課程 区 分	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
		志願者数 A	入学者数 B	志願者倍率 $\frac{A}{B}$	志願者数 C	入学者数 D	志願者倍率 $\frac{C}{D}$	志願者数 E	入学者数 F	志願者倍率 $\frac{E}{F}$	志願者数 G	入学者数 H	志願者倍率 $\frac{G}{H}$	
昭和 2 5 年度		人 69	人 44	1.57	人	人		人	人		人	人		昭和 3 0 年度から 進学課程教育を北 大に委託した
昭和 2 6 年度		170	41	4.15										
昭和 2 7 年度		183	45	4.07										
昭和 2 8 年度		232	65	3.57										
昭和 2 9 年度		300	66	4.55										
昭和 3 0 年度		332	66	5.03										
昭和 3 1 年度		401	66	6.08										
昭和 3 2 年度			65											昭和 3 2 年度から 北大への委託生が 進学した
昭和 3 3 年度			59		951	66	14.41							
昭和 3 4 年度			58		996	66	15.09							
昭和 3 5 年度					995	68	14.63							
昭和 3 6 年度					878	71	12.37							
昭和 3 7 年度					941	67	14.04							
昭和 3 8 年度					957	87	11.00							
昭和 3 9 年度					1,322	87	15.20							昭和 3 3 年度に進 学課程が設置され た
昭和 4 0 年度					1,566	81	19.33							
昭和 4 1 年度					1,924	79	24.35							
昭和 4 2 年度					390	87	4.48							
昭和 4 3 年度					674	80	8.43							
昭和 4 4 年度					709	84	8.44							
昭和 4 5 年度					989	80	12.36							
昭和 4 6 年度					860	85	10.12							昭和 5 4 年度から 進学課程及び専門 課程が廃止され 6 年間一貫教育体制 となった
昭和 4 7 年度					832	80	10.40							
昭和 4 8 年度					810	86	9.42							
昭和 4 9 年度					778	100	7.78							
昭和 5 0 年度					868	100	8.68							
昭和 5 1 年度					683	99	6.90							
昭和 5 2 年度					840	97	8.66							
昭和 5 3 年度					793	100	7.93							昭和 5 4 年度から 大学入学者の選抜 は、共通第 1 次学 力試験と札幌医科 大学の第 2 次学力 試験により行われ た
昭和 5 4 年度								483	100	4.83				
昭和 5 5 年度								314	100	3.14				
昭和 5 6 年度								355	101	3.51				
昭和 5 7 年度								362	100	3.62				
昭和 5 8 年度								517	100	5.17				
昭和 5 9 年度								495	100	4.95				
昭和 6 0 年度								354	100	3.54				昭和 6 2 年度から 国公立大学の受験 機会の複数化が実 施された
昭和 6 1 年度								357	100	3.57				
昭和 6 2 年度								729	105	6.94				
昭和 6 3 年度								655	100	6.55				
平成 元 年度								536	103	5.20				
平成 2 年度								589	100	5.89				
平成 3 年度								521	101	5.16				
平成 4 年度								603	100	6.03				平成 2 年度から大 学入試センター試 験実施
平成 5 年度								506	100	5.06	932	95	9.81	
平成 6 年度								777	104	7.47	490	98	5.00	
平成 7 年度								563	98	5.74	422	98	4.31	
平成 8 年度								638	101	6.32	372	96	3.88	
平成 9 年度								1,042	99	10.53	410	96	4.27	
平成 1 0 年度								848	100	8.48	466	96	4.85	
平成 1 1 年度								799	100	7.99	404	97	4.16	平成 9 年度から入 学者選抜の方法が 分離分割方式とな り、受験機会が複 数化された
平成 1 2 年度								1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成 1 3 年度								809	100	8.09	457	97	4.71	
平成 1 4 年度								972	100	9.72	411	97	4.24	
平成 1 5 年度								941	100	9.41	427	96	4.45	
平成 1 6 年度								648	100	6.48	462	94	4.91	
平成 1 7 年度								912	100	9.12	452	96	4.71	
平成 1 8 年度								687	100	6.87	449	99	4.54	
平成 1 9 年度								709	101	7.01	342	99	3.45	

イ 定員及び現員数

(平成19年5月1日現在 単位：人)

学 年		入 学 員	1 年 現 員	2 年 現 員	3 年 現 員	4 年 現 員	5 年 現 員	6 年 現 員	計 現 員
学 部	学 科								
医学部	医 学 科	100	101(29)	103(31)	100(44)	101(28)	99(26)	104(36)	608(194)
	看 護 学 科		55(47)	55(51)	53(49)	61(59)			224(206)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	1(1)			1(1)
	計	50	55(47)	55(51)	53(49)	62(60)			225(207)
	理 学 療 法 学 科		22(10)	22(5)	20(7)	22(10)			86(32)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	1(1)			1(1)
	計	20	22(10)	22(5)	20(7)	23(11)			87(33)
	作 業 療 法 学 科		22(12)	22(12)	21(14)	23(13)			88(51)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			0(0)
	計	20	22(12)	22(12)	21(14)	23(13)			88(51)
保健医療学部	編入学生総計		0(0)	0(0)	0(0)	2(2)			2(2)
	小 計	90	99(69)	99(68)	94(70)	108(84)			400(291)
学 部 合 計		190	200(98)	202(99)	194(114)	209(112)	99(26)	104(36)	1,008(485)
医学研究科	生 理 系	0				0(0)			0(0)
	病 理 系	0				0(0)			0(0)
	社 会 医 学 系	0				0(0)			0(0)
	内 科 系	0				0(0)			0(0)
	外 科 系	0				0(0)			0(0)
	小 計	0				0(0)			0(0)
	地 域 医 療 人 間 総 合 医 学	18	9(0)	11(2)	11(2)	13(3)			44(7)
	分 子 ・ 器 官 制 御 医 学	20	13(3)	12(4)	13(4)	20(3)			58(14)
	情 報 伝 達 制 御 医 学	12	8(3)	8(3)	3(1)	13(5)			32(12)
	小 計	50	30(6)	31(9)	27(7)	46(11)			134(33)
保健医療研究科	看 護 学								
	博士課程前期	12	3(3)	18(14)	0(0)				21(17)
	博士課程後期	2	2(2)	2(2)	0(0)				4(4)
	理 学 療 法 学								
	博士課程前期	12	9(3)	15(6)	0(0)				24(9)
保健医療研究科	作 業 療 法 学								
	博士課程後期	6	4(1)	4(2)	22(11)				30(14)
	小 計	32	18(9)	39(24)	22(11)				79(44)
大 学 院 合 計		82	48(15)	70(33)	49(18)	46(11)			213(77)
総 合 計		272	248(113)	272(132)	243(132)	255(123)	99(26)	104(36)	1,221(562)

※ () 内は女子学生数(内数)

ウ 出身地別現員数

学 年		1 年			2 年			3 年			4 年		
課 程	出身地	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計
医 学 部	人	73	28	101	79	24	103	71	29	100	79	22	101
	%	72.3	27.7	100.0	76.7	23.3	100.0	71.0	29.0	100.0	78.2	21.8	100.0
保健医療学部	人	96	3	99	87	12	99	86	8	94	97	11	108
	%	97.0	3.0	100.0	87.9	12.1	100.0	91.5	8.5	100.0	89.8	10.2	100.0
医学研究科	人	22	8	30	25	6	31	18	9	27	38	8	46
	%	73.3	26.7	100.0	80.6	19.4	100.0	66.7	33.3	100.0	82.6	17.4	100.0
保健医療学研	人	13	5	18	36	3	39	18	4	22			
	%	72.2	27.8	100.0	92.3	7.7	100.0	81.8	18.2	100.0			
計	人	204	44	248	227	45	272	193	50	243	214	41	255
	%	82.3	17.7	100.0	83.5	16.5	100.0	79.4	20.6	100.0	83.9	16.0	100.0

学 年		5 年			6 年			道 内 計	道 外 計	合 計
課 程	出身地	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計			
医 学 部	人	60	39	99	72	32	104	434	174	608
	%	60.6	39.4	100.0	69.2	30.8	100.0	71.4	28.6	100.0
保健医療学部	人							366	34	400
	%							91.5	8.5	100.0
医学研究科	人							103	31	134
	%							76.9	23.1	100.0
保健医療学研	人							67	12	79
	%							84.8	15.2	100.0
計	人	60	39	99	72	32	104	970	251	1,221
	%	60.6	39.4	100.0	69.2	30.8	100.0	79.4	20.6	100.0

※出身地は、入学資格を取得した学校の所在地による

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区 分 卒業年次	卒業生	出身地		区 分 卒業年次	卒業生	出身地		区 分 卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和29年 (第1回)	36	22	14	昭和49年 (第21回)	84	74	10	平成6年 (第41回)	99	79	20
昭和30年 (第2回)	41	35	6	昭和50年 (第22回)	77	57	20	平成7年 (第42回)	91	70	21
昭和31年 (第3回)	47	41	6	昭和51年 (第23回)	65	54	11	平成8年 (第43回)	100	74	26
昭和32年 (第4回)	66	58	8	昭和52年 (第24回)	80	62	18	平成9年 (第44回)	101	74	27
昭和33年 (第5回)	69	60	9	昭和53年 (第25回)	92	74	18	平成10年 (第45回)	100	66	34
昭和34年 (第6回)	58	49	9	昭和54年 (第26回)	90	81	9	平成11年 (第46回)	102	80	22
昭和35年 (第7回)	67	54	13	昭和55年 (第27回)	94	84	10	平成12年 (第47回)	100	58	42
昭和36年 (第8回)	62	54	8	昭和56年 (第28回)	95	81	14	平成13年 (第48回)	109	60	49
昭和37年 (第9回)	59	35	24	昭和57年 (第29回)	95	84	11	平成14年 (第49回)	99	58	41
昭和38年 (第10回)	59	32	27	昭和58年 (第30回)	107	96	11	平成15年 (第50回)	94	62	32
昭和39年 (第11回)	63	54	9	昭和59年 (第31回)	99	87	12	平成16年 (第51回)	101	74	27
昭和40年 (第12回)	65	58	7	昭和60年 (第32回)	94	90	4	平成17年 (第52回)	103	72	31
昭和41年 (第13回)	66	54	12	昭和61年 (第33回)	97	90	7	平成18年 (第53回)	95	60	35
昭和42年 (第14回)	62	58	4	昭和62年 (第34回)	86	75	11	平成19年 (第54回)	103	67	36
昭和43年 (第15回)	62	58	4	昭和63年 (第35回)	89	79	10	合 計	4,512	3,587	925
昭和44年 (第16回)	80	71	9	平成元年 (第36回)	116	96	20				
昭和45年 (第17回)	74	63	11	平成2年 (第37回)	92	79	13				
昭和46年 (第18回)	78	63	15	平成3年 (第38回)	101	85	16				
昭和47年 (第19回)	73	60	13	平成4年 (第39回)	99	84	15				
昭和48年 (第20回)	69	55	14	平成5年 (第40回)	107	87	20				

イ 保健医療学部

(単位：人)

区 分 卒業年次	看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成9年 (第1回)	48	21	19	88	76	12
平成10年 (第2回)	51 (3)	25 (3)	22 (3)	98 (9)	72 (8)	26 (1)
平成11年 (第3回)	61 (8)	21 (1)	20 (0)	102 (9)	71 (6)	31 (3)
平成12年 (第4回)	54 (5)	23 (2)	23 (4)	100 (11)	78 (11)	22 (0)
平成13年 (第5回)	58 (9)	22 (2)	24 (2)	104 (13)	79 (9)	25 (4)
平成14年 (第6回)	46 (8)	22 (2)	19 (2)	87 (12)	68 (8)	19 (4)
平成15年 (第7回)	57 (5)	27 (3)	24 (2)	108 (10)	93 (9)	15 (1)
平成16年 (第8回)	53 (5)	23 (2)	21 (0)	97 (7)	83 (7)	14 (0)
平成17年 (第9回)	52 (5)	21 (2)	23 (0)	96 (7)	83 (7)	13 (0)
平成18年 (第10回)	49 (4)	30 (2)	21 (1)	100 (7)	85 (5)	15 (2)
平成19年 (第11回)	56 (4)	23 (1)	23 (2)	102 (7)	91 (5)	11 (2)
合 計	585 (56)	258 (20)	239 (16)	1,082 (92)	879 (75)	203 (17)

※1 出身地は学位記記載の本籍地による

※2 () 内は編入学生数 (内数)

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 96 回 (平成14年)	99	99	99	100.0	9	8	88.9	108	107	99.1
第 97 回 (平成15年)	94	93	93	100.0	2	0	0.0	95	93	97.9
第 98 回 (平成16年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成17年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第100回 (平成18年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第101回 (平成19年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 91 回 (平成14年)	46	46	46	100.0	0	0	—	46	46	100.0
第 92 回 (平成15年)	50	50	49	98.0	2	2	100.0	52	51	98.1
第 93 回 (平成16年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成17年)	47	47	47	100.0	0	0	—	47	47	100.0
第 95 回 (平成18年)	45	45	45	100.0	0	0	—	45	45	100.0
第 96 回 (平成19年)	52	52	52	100.0	0	0	—	52	52	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 88 回 (平成14年)	54	51	49	96.1	1	1	100.0	52	50	96.2
第 89 回 (平成15年)	57	56	56	100.0	2	2	100.0	58	58	100.0
第 90 回 (平成16年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成17年)	52	50	46	92.0	0	0	—	50	46	92.0
第 92 回 (平成18年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成19年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0

エ 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 37 回 (平成14年)	24	22	22	100.0	0	0	—	22	22	100.0
第 38 回 (平成15年)	27	24	24	100.0	0	0	—	24	24	100.0
第 39 回 (平成16年)	23	21	21	100.0	0	0	—	21	21	100.0
第 40 回 (平成17年)	19	19	17	89.5	0	0	—	19	17	89.5
第 41 回 (平成18年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第 42 回 (平成19年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0

オ 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第37回 (平成14年)	21	19	19	100.0	0	0	—	19	19	100.0
第38回 (平成15年)	24	22	22	100.0	0	0	—	22	22	100.0
第39回 (平成16年)	21	21	21	100.0	0	0	—	21	21	100.0
第40回 (平成17年)	23	23	23	100.0	0	0	—	23	23	100.0
第41回 (平成18年)	21	20	20	100.0	0	0	—	20	20	100.0
第42回 (平成19年)	21	21	21	100.0	0	0	—	21	21	100.0

(4) 研究生数

(平成19年4月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学	解剖学第一	4	1	医学部臨床医学	内科学第一	37	25
	解剖学第二	2	1		内科学第二	32	13
	生理学第一				内科学第三	29	22
	生理学第二				内科学第四	45	35
	生化学第一				外科学第一	25	17
	生化学第二				外科学第二	6	1
	病理学第一	6			整形外科学	24	7
	病理学第二	3	1		脳神経外科学	2	1
	微生物学				産婦人科学	6	2
	薬理学	1			小児科学	25	17
	衛生学				眼科学	4	
	公衆衛生学	1			皮膚科学	5	
	法医学				泌尿器科学	6	1
	がん研生化学				耳鼻咽喉科学	7	1
	がん研分子生物学				神経精神医学	24	3
	がん研分子病理病態学	1			放射線医学	13	
	臨海医学研究所				麻酔学	24	5
	教育研究機器センター				口腔外科学	18	7
	附属総合情報センター	1			臨床検査医学		
保健医療学部	物理学	1	1		機器診断部		
	生物学				病理部	1	1
	看護学	1			救急集中治療部	16	11
	理学療法学				リハビリテーション部	3	1
	作業療法学				神経内科	11	3
保健医療学部	一般教育			医学部計	形成外科	6	
					薬剤部		
					地域医療総合医学	1	
基礎医学計		20	4	臨床医学計		370	173
				医学部計		390	177
保健医療学部計		1	0	合計		391	177

(5) 博士（医学）の学位授与者数

（単位：人）

区分 年度		本 学 大 学 院 修 了 者									一 般 論 文 提 出 者	合 計	
		生 理 系	病 理 系	社会 医学 系	内 科 系	外 科 系	總 合 医 学	地 域 医 療 人 間 学	制 御 医 学	分 子 ・ 器 官 学			制 御 医 学
昭 和 34 年 度 ～ 平 成 12 年 度		49	81	16	228	297					671	1,325	1,996
平 成 13 年 度		1			11	16					28	48	76
平 成 14 年 度		3	2		11	16					32	37	69
平 成 15 年 度			3		11	18					32	43	75
平 成 16 年 度					1	2	14	26	4		47	43	90
平 成 17 年 度							17	33	2		52	19	71
平 成 18 年 度					1		13	19	17		50	17	67
計		53	86	16	263	349	44	78	23		912	1,532	2,444

(6) 修士及び博士の学位授与者数

（単位：人）

区 分 年 度		本 学 大 学 院 修 了 者					計
		修 士 課 程			博 士 課 程		
専 攻		看護学	理学療法学・作業療法学		理学療法学・作業療法学		
学 位		看護学	理学療法学	作業療法学	理学療法学	作業療法学	
平 成 11 年 度		9	6	3			18
平 成 12 年 度		6	4	3			13
平 成 13 年 度		4	5	4			13
平 成 14 年 度		8	8	3	1	3	23
平 成 15 年 度		6	2	3	2	1	14
平 成 16 年 度		6	6	7	1	1	21
平 成 17 年 度		7	7	4	1	1	20
平 成 18 年 度		5	7	3	2	4	21
計		51	45	30	7	10	143

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和 7 年 3 月 28 日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年 4 月 1 日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年 4 月 1 日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年 4 月 1 日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年 3 月 31 日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年 7 月 1 日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年 2 月 1 日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年 1 月 23 日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年 3 月 31 日	新外来棟建築第 1 期工事落成
昭和37年 6 月 21 日	新外来棟建築第 2 期工事・中央棟第 1 期工事落成
昭和37年 7 月 11 日	臨床講堂新築
昭和38年 7 月 15 日	南棟新築第 1 期工事落成
昭和39年 8 月 3 日	南棟新築第 2 期工事落成
昭和39年12月 1 日	中央棟第 2 期工事落成
昭和45年 2 月 1 日	副院長制（2 人）施行
昭和50年11月 1 日	放射線管理室設置
昭和54年 5 月 26 日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年 4 月 1 日	附属病院がん研究内科が第 4 内科に名称変更
昭和58年 7 月 2 日	附属病院新棟第 1 期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年 8 月 1 日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年 9 月 6 日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年 7 月 1 日	附属病院新棟第 2 期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年 4 月 1 日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年 7 月 28 日	附属病院新棟第 2 期工事（外構工事）完成
平成 4 年 4 月 1 日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成 5 年 4 月 1 日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成 8 年 4 月 1 日	特定機能病院承認
平成11年 3 月 24 日	総合診療科を新設
平成14年 4 月 1 日	救命救急センターを設置
平成14年10月 1 日	高度救命救急センターを設置
平成15年 9 月 1 日	北海道リハビリテーション支援センターに指定
平成16年 4 月 1 日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年 9 月 27 日	「病院機能評価」認定
平成18年 2 月 1 日	N I C U を設置

(2) 歴代病院長

昭和25年 4 月 1 日－昭和35年 3 月 31 日	瀧 本 庄 蔵
昭和35年 4 月 1 日－昭和39年 3 月 31 日	南 浦 邦 夫
昭和39年 4 月 1 日－昭和41年 3 月 31 日	高 山 坦 三
昭和41年 4 月 1 日－昭和45年 3 月 31 日	末 吉 利 三
昭和45年 4 月 1 日－昭和49年 3 月 31 日	浜 谷 松 夫
昭和49年 4 月 1 日－昭和51年 3 月 31 日	立 野 誠 吾
昭和51年 4 月 1 日－昭和53年 3 月 31 日	橋 場 輝 芳
昭和53年 4 月 1 日－昭和55年 2 月 8 日	河 邨 文一郎
昭和55年 2 月 9 日－昭和55年 2 月 29 日	（事務代理）神 村 瑞 夫
昭和55年 3 月 1 日－昭和57年 3 月 31 日	神 村 瑞 夫
昭和57年 4 月 1 日－昭和61年 2 月 8 日	漆 崎 一 朗
昭和61年 2 月 9 日－昭和61年 2 月 28 日	（事務代理）熊 本 悦 明
昭和61年 3 月 1 日－平成 2 年 2 月 28 日	小 松 作 蔵
平成 2 年 3 月 1 日－平成 4 年 2 月 8 日	谷 内 昭
平成 4 年 2 月 9 日－平成 4 年 2 月 29 日	（事務取扱）谷 内 昭
平成 4 年 3 月 1 日－平成 8 年 2 月 29 日	飯 村 攻
平成 8 年 3 月 1 日－平成10年 2 月 28 日	形 浦 昭 克
平成10年 3 月 1 日－平成12年 2 月 29 日	千 葉 峻 三
平成12年 3 月 1 日－平成14年 2 月 28 日	工 藤 隆 一
平成14年 3 月 1 日－平成16年 2 月 28 日	並 木 昭 義
平成16年 3 月 1 日－現 在	島 本 和 明

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位：人)

科 別	部門 年度	外 来 部 門			入 院 部 門		
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
第 一 内 科		36,752	32,871	32,546	17,732	17,297	16,977
第 二 内 科		37,331	36,319	39,259	17,432	17,284	16,971
第 三 内 科		13,637	12,739	13,031	15,517	15,764	13,314
第 四 内 科		21,936	23,191	24,228	19,933	22,362	20,313
神 経 内 科		12,872	12,545	12,404	7,813	7,579	7,747
第 一 外 科		14,877	14,177	15,051	17,511	17,857	16,895
第 二 外 科		5,366	5,093	5,335	11,399	12,826	12,681
整 形 外 科		27,566	28,549	29,301	17,908	18,690	17,221
脳 神 経 外 科		10,017	9,869	10,808	12,659	13,308	11,776
婦 人 科		18,461	17,199	17,241	11,848	15,216	15,195
産 科 周 産 期 科		3,261	3,462	3,768	10,795	10,036	10,300
小 児 科		10,355	9,250	9,513	11,274	10,575	11,847
眼 科		38,586	38,772	36,436	12,395	11,661	12,393
皮 膚 科		24,048	23,860	26,325	10,226	9,340	9,820
形 成 外 科		5,507	6,110	8,446	4,989	5,742	6,390
泌 尿 器 科		16,521	16,493	18,071	12,290	9,278	9,795
耳 鼻 咽 喉 科		25,350	24,708	26,631	14,267	13,093	13,426
神 経 精 神 科		27,231	27,483	28,985	16,118	15,873	15,311
放 射 線 科		28,812	34,571	32,451	14,343	13,736	12,982
麻 酔 科		10,612	10,669	11,619	3,601	2,821	2,324
総 合 診 療 科		4,688	5,051	4,714	685	484	301
歯 科 口 腔 外 科		23,665	21,322	21,200	10,610	9,026	8,704
リハビリテーション部		38,350	37,124	34,895	3,480	3,110	3,306
救急集中治療部		1,616	909	966	9,299	8,306	9,054
計		457,417	452,336	463,224	284,124	281,264	275,043

イ 1日平均患者数

(単位：人)

科 別	部門 年度	外 来 部 門			入 院 部 門		
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
第 一 内 科		151.2	134.7	132.8	48.6	47.4	46.5
第 二 内 科		153.6	148.8	160.2	47.8	47.4	46.5
第 三 内 科		56.1	52.2	53.2	42.5	43.2	36.5
第 四 内 科		90.3	95.0	98.9	54.6	61.3	55.7
神 経 内 科		53.0	51.4	50.6	21.4	20.8	21.2
第 一 外 科		61.2	58.1	61.4	48.0	48.9	46.3
第 二 外 科		22.1	20.9	21.8	31.2	35.1	34.7
整 形 外 科		113.4	117.0	119.6	49.1	51.2	47.2
脳 神 経 外 科		41.2	40.4	44.1	34.7	36.5	32.3
婦 人 科		76.0	70.5	70.4	32.5	41.7	41.6
産 科 周 産 期 科		13.4	14.2	15.4	29.6	27.5	28.2
小 児 科		42.6	37.9	38.8	30.9	29.0	32.5
眼 科		158.8	158.9	148.7	34.0	31.9	34.0
皮 膚 科		99.0	97.8	107.4	28.0	25.6	26.9
形 成 外 科		22.7	25.0	34.5	13.7	15.7	17.5
泌 尿 器 科		68.0	67.6	73.8	33.7	25.4	26.8
耳 鼻 咽 喉 科		104.3	101.3	108.7	39.1	35.9	36.8
神 経 精 神 科		112.1	112.6	118.3	44.2	43.5	41.9
放 射 線 科		118.6	141.7	132.5	39.3	37.6	35.6
麻 酔 科		43.7	43.7	47.4	9.9	7.7	6.4
総 合 診 療 科		19.3	20.7	19.2	1.9	1.3	0.8
歯 科 口 腔 外 科		97.4	87.4	86.5	29.1	24.7	23.8
リハビリテーション部		157.8	152.1	142.4	9.5	8.5	9.1
救急集中治療部		6.7	3.7	3.9	25.5	22.8	24.8
計		1,882.4	1,853.8	1,890.7	778.4	770.6	753.5

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区 分		平成 16 年 度			平成 17 年 度			平成 18 年 度		
		入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計
患者検査人数	単 純 撮 影	41,830	37,264	79,094	36,937	41,300	78,237	38,937	37,607	76,544
	断 層 撮 影	14	44	58	454	2,036	2,490			0
	造 影 検 査	2,002	911	2,913	2,259	635	2,894	2,288	639	2,927
	血 管 造 影	2,126	200	2,326	2,302	281	2,583	2,198	299	2,497
	透 視 の み	190	111	301	0	0	0	0	0	0
	C T 検 査	9,881	11,505	21,386	11,156	11,882	23,038	10,955	12,050	23,005
	M R 検 査	1,726	4,433	6,159	2,123	4,860	6,983	2,188	4,722	6,910
	R I 検 査	1,688	1,713	3,401	1,732	1,647	3,379	1,652	1,485	3,137
	乳 腺 撮 影	53	720	773	672	80	752	59	876	935
	骨 塩 検 査	232	959	1,191	331	1,018	1,349	249	985	1,234
	合 計	59,742	57,860	117,602	57,966	63,739	121,705	58,526	58,663	117,189
フィルム使用枚数	半 切	128,336	129,548	257,884			31,526			4,613
	大 角	0	0	0			0			0
	大 四 ツ 切	13,825	41,590	55,415			7,084			543
	四 ツ 切	1,089	287	1,376			0			0
	六 ツ 切	3,028	4,624	7,652			675			412
	歯 科 用	51	108	159			0			0
	乳 腺 用	173	2,814	2,987			3,139			3,321
	長 尺	181	572	753			0			0
	合 計	146,683	179,543	326,226			42,424			8,889
	(シネ・35mm)	38,672	400	39,072			0			0

(シネ・35mm 単位：メートル)

※平成17年5月よりフィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。

情報開示、特定疾患申請などフィルムでの出力を求められたときのみ、フィルム出力となります。

これにより、フィルムの外来・入院別集計はとっておりません。

イ 検査部・機器診断部・病理部検査件数

区 分		平成 16 年 度		平成 17 年 度		平成 18 年 度	
		件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数
検査部	血 液 検 査	222,881	7,400,231	227,560	7,632,841	239,378	7,276,834
	緊 急 検 査	1,021,807	16,747,045	1,113,753	17,990,526	1,264,273	18,475,683
	一 般 検 査	125,807	4,274,143	125,473	3,795,076	134,658	3,803,689
	輸 血 検 査	67,222	3,593,949	65,776	2,708,182	68,326	2,920,639
	細 菌 検 査	63,968	6,183,619	45,547	3,969,354	45,151	3,709,595
	生 化 学 検 査	1,794,034	38,322,870	1,603,720	36,637,438	1,497,886	32,288,638
	血 清 検 査	97,524	8,340,367	96,157	8,291,009	96,118	7,231,040
	遺 伝 子 検 査	3,197	1,598,930	3,422	1,673,460	2,941	1,324,830
	検体検査管理加算料	282,284	40,918,115	341,129	40,921,412	363,636	43,667,860
検 査 部 合 計		3,678,724	127,379,269	3,622,537	123,619,298	3,712,367	120,698,808
機 器 診 断 部 合 計		40,734	18,323,240	39,272	16,989,951	40,375	19,689,010
病理部	病 理 検 査	17,048	8,705,048	17,887	9,886,530	18,215	10,079,470
	病 理 診 断 料	5,486	1,398,930	10,113	2,578,815	9,445	3,872,450
	病 理 部 合 計	22,534	10,103,978	28,000	12,465,345	27,660	13,951,920
総 合 計		3,741,992	155,806,487	3,689,809	153,074,594	3,780,402	151,846,258

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数（入院）

科 別	平 成 16 年 度			平 成 17 年 度			平 成 18 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	9,670	22,492	163,472	10,606	21,738	156,810	10,058	22,108	155,803
第 二 内 科	11,779	28,447	227,606	12,260	31,725	235,694	12,780	32,848	242,770
第 三 内 科	8,868	20,069	129,804	9,633	20,495	133,147	7,813	17,401	114,168
第 四 内 科	9,861	21,134	142,051	12,299	26,869	171,076	11,251	25,028	159,128
神 経 内 科	4,852	10,303	77,664	5,530	11,950	89,077	4,742	9,752	74,623
第 一 外 科	11,235	18,467	105,146	12,045	19,943	109,263	11,830	19,102	105,418
第 二 外 科	9,093	16,213	95,811	9,329	19,897	123,486	9,626	19,752	125,763
整 形 外 科	6,918	12,053	82,412	8,036	13,172	92,997	7,780	13,738	98,436
脳 神 経 外 科	6,406	11,278	72,926	7,188	13,000	87,668	6,498	12,011	86,768
婦 人 科	6,318	9,458	48,795	10,389	14,118	76,655	9,111	11,985	64,166
産科周産期科	4,112	4,672	17,069	4,722	5,997	21,421	5,226	6,116	22,616
小 児 科	6,284	11,979	80,155	6,241	10,960	60,302	6,769	12,286	69,917
眼 科	9,491	14,287	46,135	8,266	13,673	47,963	8,616	14,759	49,483
皮 膚 科	6,005	10,893	92,369	5,505	9,817	61,034	7,560	12,784	75,684
形 成 外 科	2,215	3,626	22,039	2,299	3,458	19,777	2,703	3,959	21,335
泌 尿 器 科	6,699	10,450	62,176	5,145	7,585	43,683	6,194	9,216	50,780
耳 鼻 咽 喉 科	8,769	14,732	88,793	8,291	13,184	80,880	9,854	15,283	87,658
神 経 精 神 科	8,270	20,560	143,340	8,890	21,501	146,552	9,633	21,769	141,582
放 射 線 科	5,965	11,222	70,174	5,314	9,736	64,586	5,388	10,344	68,838
麻 酔 科	2,043	5,052	48,432	2,204	5,444	44,951	1,562	3,551	29,278
総 合 診 療 科	373	809	6,045	313	702	4,743	201	415	2,719
歯科口腔外科	4,370	6,204	26,860	5,233	7,065	33,013	4,680	6,196	21,831
リハビリテーション部	2,427	5,709	43,003	1,422	3,348	29,226	1,556	3,945	34,170
救 急 部	3,382	5,053	22,219	4,755	7,005	35,431	5,609	8,173	39,957
集 中 治 療 部	996	1,495	8,117	157	283	1,467	1,414	2,060	10,608
計	156,401	296,657	1,922,613	166,072	312,665	1,970,902	168,454	314,581	1,953,499

(イ) 年間調剤延数（外来）

科 別	平 成 16 年 度			平 成 17 年 度			平 成 18 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	1,922	10,973	245,389	2,117	12,741	278,894	2,632	14,678	361,408
第 二 内 科	1,470	8,253	216,954	1,801	10,458	287,526	2,464	15,369	411,812
第 三 内 科	654	3,515	69,967	804	4,154	78,377	870	4,550	94,191
第 四 内 科	645	3,216	57,782	852	3,472	68,803	1,211	5,306	106,023
神 経 内 科	545	2,526	75,563	529	2,315	77,267	595	2,417	85,524
第 一 外 科	326	1,002	16,952	366	1,272	26,653	715	2,169	47,389
第 二 外 科	130	785	19,367	262	1,602	37,309	355	1,927	52,702
整 形 外 科	1,054	2,781	66,598	1,157	2,898	64,653	1,196	3,062	81,071
脳 神 経 外 科	572	2,133	66,660	700	2,182	72,423	781	2,429	84,087
婦 人 科	158	264	4,937	144	222	4,150	170	286	6,275
産科周産期科	213	308	2,077	174	231	1,989	310	436	3,568
小 児 科	396	1,048	23,639	364	1,019	23,918	452	1,480	32,423
眼 科	1,180	2,479	15,891	1,606	3,580	25,752	1,636	3,799	29,604
皮 膚 科	921	2,473	29,731	2,064	4,473	55,156	2,471	5,632	72,065
形 成 外 科	188	291	4,041	257	352	6,110	363	486	6,962
泌 尿 器 科	266	520	13,908	402	633	19,336	492	878	24,670
耳 鼻 咽 喉 科	515	1,178	15,088	579	1,166	21,209	615	1,543	27,941
神 経 精 神 科	1,990	7,581	166,659	2,084	7,960	184,093	2,584	9,964	230,524
放 射 線 科	49	231	4,057	63	123	2,919	126	364	6,043
麻 酔 科	881	5,417	95,378	1,543	8,574	137,606	1,876	10,388	174,286
総 合 診 療 科	177	687	12,486	147	508	9,040	107	499	8,607
歯科口腔外科	792	1,294	12,160	549	892	11,587	532	826	9,992
リハビリテーション部	686	2,592	47,815	547	2,077	41,256	742	3,047	63,687
救 急 部	58	91	359	61	142	971	61	136	790
集 中 治 療 部									
計	15,788	61,638	1,283,458	19,172	73,046	1,536,997	23,356	91,671	2,021,644

(ウ) 間注射処方せん延数

科 別 \ 年 度	平 成 16 年 度		平 成 17 年 度		平 成 18 年 度	
	枚	件	枚	件	枚	件
第 一 内 科	16,024	39,502	19,429	42,812	19,564	41,527
第 二 内 科	10,828	20,717	15,719	28,190	17,349	33,568
第 三 内 科	11,062	27,594	13,435	29,653	12,553	28,210
第 四 内 科	21,298	50,440	27,899	62,047	26,407	59,154
神 経 内 科	3,165	7,579	3,363	6,420	3,463	6,252
第 一 外 科	23,028	41,978	25,885	44,623	25,245	49,841
第 二 外 科	11,091	15,388	17,221	32,056	16,936	32,926
整 形 外 科	7,805	14,710	11,380	21,483	12,007	22,516
脳 神 経 外 科	7,156	11,620	8,976	16,939	7,695	14,631
婦 人 科	7,397	19,910	9,547	23,237	9,522	22,756
産科周産期科	5,143	7,957	6,042	9,465	6,601	9,985
小 児 科	9,921	26,462	12,446	31,233	14,093	29,308
眼 科	4,612	6,789	4,763	6,885	4,630	7,279
皮 膚 科	5,517	11,379	5,557	10,162	6,659	12,534
形 成 外 科	2,320	4,612	2,544	5,296	1,977	3,718
泌 尿 器 科	8,070	14,263	7,087	14,069	9,630	20,283
耳 鼻 咽 喉 科	8,236	16,142	7,697	13,785	10,650	18,483
神 経 精 神 科	1,790	3,267	2,573	4,807	2,511	4,087
放 射 線 科	6,519	14,644	6,080	15,024	6,516	13,967
麻 酔 科	1,104	1,880	1,496	2,049	2,073	2,982
総 合 診 療 科	41	49	317	649	250	553
歯科口腔外科	5,003	8,923	5,876	9,593	7,023	9,770
リハビリテーション部	1,599	3,022	387	678	412	579
救 急 部						
集 中 治 療 部						
計	178,729	368,827	215,719	431,155	223,766	444,909

(エ) 年間院外処方延数

科 別 \ 年 度	平 成 16 年 度			平 成 17 年 度			平 成 18 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	21,867	106,775	3,084,580	19,065	94,204	2,914,687	18,481	93,756	3,028,125
第 二 内 科	25,884	134,201	4,291,865	25,903	133,303	4,446,940	26,089	136,219	4,614,000
第 三 内 科	8,185	34,714	829,754	7,833	32,823	750,871	7,518	30,542	748,430
第 四 内 科	12,429	50,417	1,217,938	13,127	52,879	1,331,746	12,964	53,664	1,422,969
神 経 内 科	8,462	36,259	1,159,475	8,723	36,822	1,241,933	7,888	32,305	1,138,243
第 一 外 科	6,018	15,368	497,244	6,079	14,879	501,096	5,980	14,671	521,544
第 二 外 科	2,123	11,595	326,213	2,008	11,117	330,596	1,717	9,308	293,458
整 形 外 科	9,825	22,543	667,264	9,985	22,240	608,471	9,723	21,257	610,333
脳 神 経 外 科	4,761	14,086	515,500	3,970	11,766	455,128	3,831	11,247	460,392
婦 人 科	5,434	10,496	263,277	4,833	9,185	251,658	4,581	8,892	246,785
産科周産期科	787	1,087	11,300	820	1,141	11,648	912	1,265	12,971
小 児 科	4,871	12,496	360,127	4,563	11,719	351,470	4,660	12,124	352,100
眼 科	17,537	36,091	355,241	17,259	34,809	366,371	14,801	28,868	300,421
皮 膚 科	15,197	40,678	630,689	14,355	38,591	540,980	13,880	37,255	539,238
形 成 外 科	1,117	1,781	28,425	1,203	1,855	33,102	1,265	1,867	23,545
泌 尿 器 科	5,107	7,775	242,513	5,006	7,858	251,813	5,380	8,745	269,612
耳 鼻 咽 喉 科	11,641	25,355	569,793	11,625	24,844	605,227	11,169	24,061	595,538
神 経 精 神 科	20,386	76,792	1,528,439	20,716	79,781	1,679,512	19,757	74,520	1,658,354
放 射 線 科	1,618	3,987	103,796	1,564	3,557	99,744	1,526	3,595	104,411
麻 酔 科	2,404	10,730	205,717	2,453	10,883	203,701	2,401	11,168	217,215
総 合 診 療 科	3,499	12,012	254,996	3,871	13,728	292,441	3,611	13,698	308,045
歯科口腔外科	5,080	8,227	98,689	4,285	6,536	92,944	4,570	7,008	81,860
リハビリテーション部	2,435	8,826	155,546	2,308	8,373	145,596	2,425	8,760	165,168
救 急 部	48	142	2,313	45	152	3,623	79	262	4,937
集 中 治 療 部									
計	196,715	682,433	17,400,694	191,599	663,045	17,511,298	185,208	645,057	17,717,694

エ 手術部手術件数

(単位：件)

科 別 \ 年 度	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度
第 一 内 科	13	12	16
第 二 内 科	28	10	5
第 三 内 科	2	—	—
第 四 内 科	8	9	7
神 経 内 科	12	7	11
第 一 外 科	513	571	575
第 二 外 科	459	463	481
整 形 外 科	694	800	715
脳 神 経 外 科	271	302	276
婦 人 科 ・ 産 科 周 産 期 科	493	591	641
小 児 科	9	5	5
眼 科	806	876	1,090
皮 膚 科	383	394	389
形 成 外 科	337	394	475
泌 尿 器 科	545	461	439
耳 鼻 咽 喉 科	485	504	570
神 経 精 神 科	37	183	108
放 射 線 科	1	—	—
麻 酔 科	15	17	91
総 合 診 療 科	—	—	—
歯 科 口 腔 外 科	431	536	530
リハビリテーション部	—	—	—
救 急 部	305	216	240
合 計	5,847	6,351	6,664

(5) 分娩件数

区 分	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度
件 数	296	272	291

(6) 定床別等級別病床数

科 名 区 分	第 一 内 科	第 二 内 科	第 三 内 科	第 四 内 科	第 一 外 科	第 二 外 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科	神 經 内 科	婦 人 科	産 科 周 産 期	小 児 科	眼 科	皮 膚 科	形 成 外 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	放 射 線 科	歯 科 口 腔 外 科	総 合 診 療 科	麻 酔 科	神 経 内 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	救 急 集 中 治 療 部					合																																										
	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	救急 (救命救急センター)	うち I C U	I C U	C C U	ク リ ー ン ・ ル ー ム	小 計	計																																									
	所在階	10	11	11	10	5	5	8	8	6	6	7	7	9	4	9	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																							
室 数	15	12	14	15	14	14	14	14	14	9	13	12	15	14	15	14	21	13	11	6	(1)	1	2	2	11	274																																														
床 数	51	52	51	52	51	44	51	38	5	49	34	48	50	30	20	42	50	42	48	37	5	10	19	11	36	(6)	10	3	3	52	942																																									
特等	室数				1		1			1																					3																																									
	床数				1		1			1																					3																																									
一等	室数	2	2		1		2	2			1		3	1	2	1		2	2												21																																									
	床数	2	2		1		2	2			1		3	1	2	1		3	2												22																																									
一般	室数	13	10	14	13	14	11	12	14	13	7	13	9	14	12	14	14	19	11		11	6	(1)	1	2	2	2	11	249																																											
	床数	49	50	51	50	51	41	49	43	48	33	48	47	49	40	49	42	45	40		40	36	(6)	10	3	3	3	52	917																																											
1 床室	4	2	4	6	3	3	5	3	4	1	5	3	4	3	5	4	9	4									1	1	2	74																																										
2 床室	4	2	1	2	3	4	2	5	3	3		1	5	5	3	4	7	2		5							1	1	2	63																																										
3 床室	1		3		2				1	1	1	1				1														11																																										
4 床室		1				2										1				1										5																																										
5 床室						5		6			2			5		6	5	6		6		5							5	46																																										
6 床室	6	7	6	7	6		7		6	4	5	7	6			6														73																																										
10 床室																										1			1	1																																										
11 床室																								1	(1)				1	1																																										
備 考	(平成19年6月29日現在)																																																																							
	※ 救急集中治療部には人工透析室（6床）が設置されている。																																																																							
各 階 別 室 ・ 床 数																																																																								
<table><tr><th>階</th><th>室 数</th><th>床 数</th></tr><tr><td>1</td><td>21</td><td>48</td></tr><tr><td>2</td><td>13</td><td>42</td></tr><tr><td>3</td><td>22</td><td>92</td></tr><tr><td>4</td><td>28</td><td>84</td></tr><tr><td>5</td><td>28</td><td>95</td></tr><tr><td>6</td><td>23</td><td>83</td></tr></table>			階	室 数	床 数	1	21	48	2	13	42	3	22	92	4	28	84	5	28	95	6	23	83	<table><tr><th>階</th><th>室数</th><th>床数</th></tr><tr><td>7</td><td>25</td><td>98</td></tr><tr><td>8</td><td>28</td><td>94</td></tr><tr><td>9</td><td>30</td><td>100</td></tr><tr><td>10</td><td>30</td><td>103</td></tr><tr><td>11</td><td>26</td><td>103</td></tr><tr><td>計</td><td>274</td><td>942</td></tr></table>			階	室数	床数	7	25	98	8	28	94	9	30	100	10	30	103	11	26	103	計	274	942	等 級 別 室 料 差 額 料 金																								
階	室 数	床 数																																																																						
1	21	48																																																																						
2	13	42																																																																						
3	22	92																																																																						
4	28	84																																																																						
5	28	95																																																																						
6	23	83																																																																						
階	室数	床数																																																																						
7	25	98																																																																						
8	28	94																																																																						
9	30	100																																																																						
10	30	103																																																																						
11	26	103																																																																						
計	274	942																																																																						
<table><tr><th>等 級</th><th>料 金</th></tr><tr><td>特 等</td><td>10,500円</td></tr><tr><td>一 等</td><td>5,250円</td></tr></table>															等 級	料 金	特 等	10,500円	一 等	5,250円																																																				
等 級	料 金																																																																							
特 等	10,500円																																																																							
一 等	5,250円																																																																							

(7) 病理解剖件数

(単位：体)

科 別	年 度	平 成 16 年 度			平 成 17 年 度			平 成 18 年 度		
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科		5		5	2		2	4	4	8
第 二 内 科		4	2	6	4	1	5	3		3
第 三 内 科		1		1	4	2	6	2	3	5
第 四 内 科		4		4	7	3	10		1	1
神 経 内 科		1	2	3	1		1	1		1
第 一 外 科		2	2	4	1	1	2	2		2
第 二 外 科		1		1	3		3		1	1
整 形 外 科								4		4
脳 神 経 外 科		2		2	2	1	3			
婦 人 科			1	1						
産 科 周 産 期 科		1	1	2						
小 児 科					1		1	1		1
眼 科										
皮 膚 科					1		1	1		1
泌 尿 器 科		2	2	4	3	1	4		1	1
耳 鼻 咽 喉 科		1		1	1	1	2			
神 経 精 神 科										
放 射 線 科		1	1	2						
麻 酔 科										
歯 科 口 腔 外 科					2		2			
慈 啓 会 病 院										
同 交 会 病 院										
そ の 他 病 院		6	5	11	3		3	1	2	3
集 中 治 療 部					1		1			
救 急 部			2	2	1	1	2	2	2	4
計		31	18	49	37	11	48	21	14	35

(8) 医療相談状況（平成18年度）

ア 各科別件数

（単位：件）

区分		科名	第一内科	第二内科	第三内科	第四内科	神経内科	第一外科	第二外科	整形外科	脳神経外科	婦人科	産科周産期科	小児科	眼科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	放射線科	麻酔科	総合診療科	歯科口腔外科	リハビリテーション部	救急集中治療部	その他	合計
外来	新規	132	63	59	72	67	48	24	169	38	70	29	43	214	36	32	26	77	129	45	16	10	33	31	6	36	1,505	
	継続	388	251	103	239	200	221	71	210	121	157	84	195	252	78	23	85	100	323	129	46	27	87	103	12	8	3,513	
	計	520	314	162	311	267	269	95	379	159	227	113	238	466	114	55	111	177	452	174	62	37	120	134	18	44	5,018	
入院	新規	159	209	123	164	109	164	170	317	166	222	145	106	320	104	115	120	194	118	95	13	7	132	32	183	3	3,490	
	継続	293	327	193	340	259	277	243	310	285	475	221	464	225	146	83	239	285	239	151	16	4	97	93	151	7	5,423	
	計	452	536	316	504	368	441	413	627	451	697	366	570	545	250	198	359	479	357	246	29	11	229	125	334	10	8,913	
合計		972	850	478	815	635	710	508	1,006	610	924	479	808	1,011	364	253	470	656	809	420	91	48	349	259	352	54	13,931	
備考		新規継続計		4,995件 8,936件 13,931件		36% 64% (100.0%)																						

イ 相談内容別件数

（単位：件）

相談内容		件数（延べ）	構成比（％）	備考
小児医療関係	育成医療	941	3.4%	
	小児慢性特定疾患	410	1.5%	
	養育医療・その他	199	0.7%	
医療費支払援助		7,057	25.4%	
生活保護法関係		750	2.7%	
障害福祉関係		1,238	4.5%	
老人福祉関係		182	0.7%	
介護保健関係		451	1.6%	
特定疾患医療		893	3.2%	
労働災害関係		154	0.6%	
健康保険関係		4,657	16.7%	
年金・手当関係		557	2.0%	
家族問題		475	1.7%	
就職・社会復帰		186	0.7%	
退院・転院援助		540	1.9%	
院内連絡調整		2,634	9.5%	
院外連絡調整		2,773	10.0%	
受診援助・指導		813	2.9%	
その他		2,158	7.8%	
心理判定・カウンセリング		736	2.6%	
計		27,804	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位：円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成16年度	13,974,010,907	3,101,288,852	17,075,299,759	81.8	18.2	100.0
平成17年度	14,291,950,397	3,059,726,378	17,351,676,775	82.4	17.6	100.0
平成18年度	14,365,539,990	3,144,109,186	17,509,649,176	82.0	18.0	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位：円)

行為	年度		平成16年度	平成17年度	平成18年度
	入院	外来			
初診料	入院 外来		12,290,598 74,455,950	10,982,485 74,571,329	8,701,714 57,927,168
再診料	外来		242,824,908	242,535,575	230,465,328
医学管理等・在宅医療	入院 外来		60,448,015 232,277,339	80,795,778 239,975,015	55,462,222 221,259,598
検査	入院 外来		261,288,284 849,610,005	237,337,941 834,770,279	224,530,168 835,633,988
画像診断	入院 外来		127,333,382 582,841,046	119,649,867 509,580,619	108,475,552 538,588,175
投薬	入院 外来		162,057,987 368,483,268	178,823,851 252,931,347	158,349,302 316,787,141
注射	入院 外来		562,942,366 322,276,286	541,788,147 379,872,342	364,869,798 401,551,150
処置	入院 外来		170,271,266 36,107,731	150,644,895 30,370,948	151,819,184 32,799,392
手術・麻酔	入院 外来		3,616,985,768 87,357,610	3,764,185,312 94,602,138	3,996,944,461 109,879,732
その他	入院 外来		313,273,163 305,054,709	286,962,875 400,516,786	285,397,579 399,217,514
入院料（出来高分）	入院		2,249,055,628	2,329,430,036	2,220,667,640
入院料（包括請求分）	入院		6,402,542,950	6,553,423,210	6,753,036,870
室料差額	入院		35,521,500	37,926,000	37,285,500
計	入院 外来		13,974,010,907 3,101,288,852	14,291,950,397 3,059,726,378	14,365,539,990 3,144,109,186

4 附属総合情報センター

(1) 沿革

平成18年4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

(2) センター所長

平成19年4月1日 - 現在 佐藤昇志

(3) 組織

区分	教員	事務職員	司書	計
所長	1 ※			1
副所長		1		1
副所長	1			1
企画開発室	1			1
主任司書			1	1
総務・システム・グループ		2	3	5
図書グループ			8	8
計	3	3	12	18

※ 兼任

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境整備、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等の充実した教育環境を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (WindowsXPサーバ 55台) 等 保健医療学部教育用機器 (WindowsXPサーバ 69台) 等	基礎教育研究棟 5 階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1 階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、データ解析・統計処理システム、統計処理システム、情報可視化・テキストマイニングツール、蛋白質同定システム、NRIサイバーパトランドシステム、e-Learnigシステム 等	情報研究室 他

ウ 地域医療支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっており、本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	遠隔画像診断支援システム、TV会議システム、多地点マルチメディアTV会議システム、病理画像診断サーバシステム 等	臨床教育研究棟 3 階 臨床第二会議室 他

エ 学内情報ネットワークシステム (SAINS)

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
情報センターが整備する上記 3 システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク (SINET) と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、侵入検知システム (IDS)、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアーウォール、ウィルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ (サーバ) 室

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,230 m ²
閲覧席	281 席
(情報コンセント)	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V (視聴覚) 端末	12 台

イ 蔵書

(平成19年3月31日現在)

項 目	冊 数
蔵 書	90,575 冊
製 本 雑 誌	118,474 冊
計	209,049 冊

ウ 入館者数内訳 (平成18年度)

	開 館 状 況		学 内 者					学 外 者	合 計
	日 数	時 間	教 職 員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全 体	354	5,841	12,257	119,932	8,787	6,024	147,000	9,958	156,958
うち特別 開館時間帯	354	3,146	860	19,312	568	772	21,512	1,161	22,673

※ 特別開館時間は、平日20時15分～翌日9時及び土、日、祝日9時～翌日9時

エ 利用概要 (平成18年度)

項 目	利 用 数
館 外 貸 出	19,922 冊
相互利用 (受付)	6,857 件
相互利用 (依頼)	5,043 件

オ 特徴的な業務

- a 24時間開館の実施
- b 閲覧席に、持参のノートパソコンからインターネットへの接続環境を提供
- c 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供
 - ・米国国立医学図書館「PubMed」(アジア初、世界9番目)
 - ・国立国会図書館「NDL-OPAC」雑誌記事索引(国内初)
- d 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

5 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) センター所長

平成19年4月1日 ー 現 在 濱 田 洋 文

(3) 組織

(平成19年6月1日現在)

所 長	副所長	事務職員	客員研究員	産学官連携 コーディネーター	知的財産管理 アドバイザー
1 ※1	2 ※2	3	1	1	1

※1 兼任 ※2 うち1名兼任

(4) 業務概要

ア 研究支援

- 科学研究費補助金等
文部科学省科学研究費補助金をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等
- 共同研究・受託研究
本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付、あっせん、契約、経理等

イ 教育支援

- 知財教育プログラム
医療研究者、地域医療従事者を支援するための知的財産教育プログラムの実施
- 知的財産関係図書
知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

- 相談受付
研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付
- 知的財産管理
発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、特許をめぐるトラブルの処理等
- リエゾン（知財を核とした技術移転）
本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費補助金

(単位：千円)

種 目	平成 17 年 度									平成 18 年 度						
	新規応募		交付内定							新規応募		交付内定				
			(新 規)			(継 続)		交付合計				(新 規)			交付合計	
	件数	金 額	件数	金 額	採択率	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	採択率	件数	金 額
特定領域研究	46	418,811	10	111,200	21.7%	1	1,900	11	113,100	32	194,205	5	20,600	15.6%	12	111,700
基盤研究(S)	1	19,900	1	17,900	100.0%	0	0	1	17,900	0	0	0	0	-	1	16,900
基盤研究(A)	3	66,400	0	0	0.0%	2	22,900	2	22,900	1	15,060	0	0	0.0%	2	15,400
基盤研究(B)	29	249,462	7	57,000	24.1%	17	64,400	24	121,400	39	319,345	11	80,400	28.2%	25	131,500
基盤研究(C)	113	302,351	27	54,200	23.9%	38	40,100	65	94,300	118	295,752	26	51,000	22.0%	64	96,500
萌芽研究	45	121,108	7	13,100	15.6%	5	5,600	12	18,700	36	95,572	5	9,700	13.9%	13	19,500
若手研究(A)	2	29,950	1	8,200	50.0%	0	0	1	8,200	0	0	0	0	-	1	7,600
若手研究(B)	37	91,690	13	24,000	35.1%	10	11,000	23	35,000	58	136,823	17	28,300	29.3%	29	44,600
特別研究員奨励費	3	4,500	3	3,400	100.0%	2	2,300	5	5,700	0	0	0	0	-	3	3,300
奨励研究	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
合 計	279	1,304,172	69	289,000	24.7%	75	148,200	144	437,200	284	1,056,757	64	190,000	22.5%	150	447,000

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区 分	平 成 16 年 度		平 成 17 年 度		平 成 18 年 度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
国等受託研究	12	122,430	16	116,572	17	49,348
一般受託研究	45	37,134	39	55,438	38	58,013
合 計	57	159,564	55	172,010	55	107,361

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
出 願	14	18	19	13	19	18
取 得	1	3	0	2	0	0

※ 発明等の管理は、平成16年度までは教員個人が行い、平成17年度からは大学が行っている。

※ 平成17年度は移行期であるため、教員個人管理の出願8件を含む。

6 教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。 分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年6月	分子機能解析部門に教員を配置

(2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年4月1日	—	昭和45年3月31日	小野江 為 則
昭和45年4月1日	—	昭和46年8月31日	永 井 寅 男
昭和46年9月1日	—	昭和50年3月31日	田 中 護
昭和50年4月1日	—	昭和54年3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年4月1日	—	昭和58年3月31日	林 喬 義
昭和58年4月1日	—	昭和61年3月31日	藪 英 世
昭和61年4月1日	—	平成2年3月31日	秋 野 豊 明
平成2年4月1日	—	平成6年3月31日	森 道 夫
平成6年4月1日	—	平成10年3月31日	加 納 英 雄
平成10年4月1日	—	平成12年3月31日	浦 澤 正 三
平成12年4月1日	—	平成16年3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年4月1日	—	現 在	藤 井 暢 弘

(3) 組織

センターは分子医学研究部門、分子機能解析部門、ラジオアイソトープ研究部門の3部門からなり、構成員は以下のとおりである。

(平成19年6月1日現在)

部 門	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	主 査	臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技能員	研 究補助員	計
分子医学研究部門	1	1	1	1	1					2		7
分子機能解析部門	1	1		1		1	2		1		1	8
R I 研究部門						1		3			1	5
合 計	2	2	1	2	1	2	2	3	1	2	2	20

(4) 研究計画の概要

ア 分子医学研究部門

- (ア) 遺伝子治療のための基礎技術の開発
- (イ) がんに対する遺伝子治療法の開発
- (ウ) 難治疾患に対する再生医療・遺伝子治療
- (エ) 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用

イ 分子機能解析部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) 癌の治療応答性検出システムの開発
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

7 動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月

各講座で実験動物飼育開始

昭和27年

基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設

臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設

昭和38年12月

臨床動物実験室建設

昭和44年4月

共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる

昭和45年3月

基礎動物舎竣工

昭和57年2月

動物実験施設竣工

昭和57年5月

動物実験施設部設置

昭和63年10月

札幌医科大学動物実験指針施行

平成9年3月

動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）

(2) 歴代施設部長

昭和57年度	—	昭和58年度	浦 澤 正 三
昭和59年度	—	昭和62年度	森 道 夫
昭和63年度	—	平成3年度	藪 英 世
平成4年度	—	平成7年度	大 鹿 英 世
平成8年度	—	平成9年度	新 津 洋司郎
平成10年度	—	平成13年度	今 井 浩 三
平成14年度	—	平成16年度	青 木 藩
平成17年度	—	平成18年度	加 納 英 雄
平成19年度	—	現 在	澤 田 典 均

(3) 組織

教 授	准教授	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣
1 (兼)	1	1	4	4

(4) 関連委員会・指針

動物実験施設管理運営委員会

動物実験施設管理運営委員会動物実験部会

感染防止委員会実験動物部会

札幌医科大学動物実験指針

(5) 事業の概要（平成18年度）

ア 公開セミナー

第19回：特異的標的化を目指した遺伝子治療法の開発

講師：濱田 洋文 教授（札幌医科大学医学部教育研究機器センター分子医学研究部門）

第20回：C. botulinum とH.pyloriに関する研究

講師：小熊 恵二 教授（岡山大学大学院医歯学総合研究科）

イ 施設利用者数 延べ 9,683名

ウ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	延べ飼育数	平均飼育頭数／日	購入頭数
ラット	401,100	1,099	6,688
マウス	671,386	1,840	4,804
モルモット	24,335	67	249
ウサギ	7,284	20	30
イヌ	728	2	0
ネコ	16,461	45	27
ブタ	731	2	9
サル	1,878	5	0
ハムスター	206	1	5
ウニ	350	1	50

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ハムスター	ウサギ	ネコ	ブタ
受 入 頭 数	6,718	3,778	249	18	31		
発 病 頭 数	1				4		
死 亡 頭 数	1				1		
剖 検 検 査 頭 数	2						
抗 体 検 査 頭 数	172	88					
培 養 検 査 頭 数			3		1		

8 医学部附属がん研究所

(1) 沿革

昭和28年4月	がん研究所が設置され研究を開始
昭和30年7月	附属病院内にがん相談所を設置
昭和30年9月1日	札幌医科大学附属がん研究所設置
昭和35年10月	病理学部門、内科学部門を設置
昭和44年4月1日	分子生物学部門を設置
昭和52年8月	札幌医科大学附属がん研究所新築
昭和56年4月1日	生化学部門を設置、内科学部門を廃止
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属がん研究所に名称変更
平成14年4月1日	病理学部門を分子病理病態学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

昭和30年11月1日	—	昭和36年3月31日	中 川 諭
昭和36年4月1日	—	昭和40年3月31日	新 保 幸太郎
昭和40年4月1日	—	昭和41年3月31日	(所長事務代理) 小野江 為 則
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	塚 田 英 之
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	漆 崎 一 朗
昭和49年4月1日	—	昭和53年3月31日	藤 永 蕙
昭和53年4月1日	—	昭和57年3月31日	塚 田 英 之
昭和57年4月1日	—	昭和61年3月31日	藤 永 蕙
昭和61年4月1日	—	昭和63年3月31日	塚 田 英 之
昭和63年4月1日	—	平成4年3月31日	藤 永 蕙
平成4年4月1日	—	平成6年3月31日	望 月 洋 一
平成6年4月1日	—	平成9年3月31日	藤 永 蕙
平成9年4月1日	—	平成12年3月31日	望 月 洋 一
平成12年4月1日	—	平成16年3月31日	佐々木 輝 捷
平成16年4月1日	—	現 在	時 野 隆 至

(3) 組織

研究所に生化学、分子生物学、分子病理病態学の3部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成19年4月1日現在)

部 門	教 授	准教授	講 師	助 教	衛生検 査技師	臨床検 査技師	研 究 補助員	計
生 化 学	1	1		1	1		1	5
分 子 生 物 学	1		1	2	1			5
分子病理病態学	1			2		1		4
合 計	3	1	1	5	2	1	1	14

(4) 研究計画の概要

ア 生化学部門

- (ア) 非受容体型タンパク質チロシンキナーゼ、CAK β 、の活性化機序とシグナル伝達における役割に関する研究
- (イ) 焦点接着に局在するタンパク質、Hic-5、の機能に関する研究
- (ウ) 軸索ガイダンス分子セマフォリンの神経回路形成過程における機能解析

イ 分子生物学部門

- (ア) ヒト癌の発生机序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) p53標的遺伝子の単離と機能解析、p53およびそのファミリー遺伝子群の機能解析
- (エ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (オ) Ewing肉腫/PNETの発生机序、ETS群遺伝子とがん細胞の浸潤・転移
- (カ) ウイルスベクターを用いたがんの遺伝子治療の基礎研究
- (キ) 癌における後成的遺伝子修飾の解析

ウ 分子病理病態学部門

- (ア) 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝臓の再構築に関する研究
- (イ) 幹（前駆）細胞に関する研究
- (ウ) 細胞接着に関する研究
- (エ) 細胞外基質と疾患に関する研究
- (オ) 人工肝臓の基礎的研究

9 医学部附属臨海医学研究所

(1) 沿革

昭和43年2月26日	附属臨海医学研究所設置委員会設置
昭和43年5月2日	附属臨海医学研究所運営委員会設置
昭和43年9月1日	札幌医科大学附属臨海医学研究所設置
昭和53年7月25日	研究所開所10周年記念式典挙行
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属臨海医学研究所に名称変更
平成5年11月1日	研究所開所25周年記念式典挙行
平成11年5月10日	札幌医科大学内に臨海医学研究所札幌研究室を設置

(2) 歴代研究所長

昭和43年9月1日	—	昭和45年2月1日	新 保 幸太郎
昭和45年2月1日	—	昭和51年3月31日	渡 邊 左武郎
昭和51年4月1日	—	昭和55年2月8日 (所長事務取扱)	渡 邊 左武郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年6月30日 (")	和 田 武 雄
昭和55年7月1日	—	昭和57年3月31日	小野江 為 則
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	菊 地 浩 吉
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日 (所長事務取扱)	菊 地 浩 吉
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	高 橋 杏 三
平成2年3月1日	—	平成5年3月31日	三 宅 浩 次
平成5年4月1日	—	平成8年2月29日	秋 野 豊 明
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	森 道 夫
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	森 道 夫
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	神 保 孝 一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	神 保 孝 一
平成16年3月1日	—	平成18年2月28日	佐 藤 昇 志
平成18年3月1日	—	現 在	當 瀬 規 嗣

(3) 組織

(平成19年4月1日現在)

職 種 部 門	教 授		准 教 授		講 師		計
	専 任	兼 任	専 任	兼 任	専 任	兼 任	
所 長		1					1
基礎医学部門			1		1		2
臨床医学部門							
計		1	1		1		3

(4) 研究計画の概要

- ア 海洋生物由来抗腫瘍物質（腫瘍血管新生阻害作用）に関する研究
- イ 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析
- ウ 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索
- エ 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究
- オ 抗原提示細胞における抗原提示機構に関する解析

10 平成19年度収入支出予算

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,119,000</u>	<u>業務費</u>	<u>26,380,961</u>
運 営 費 交 付 金	7,119,000	教 育 研 究 経 費	1,020,843
		医 薬 材 料 費	6,350,000
<u>学生納付金</u>	<u>924,475</u>	診 療 経 費	2,128,143
学 生 納 付 金	924,475	管 理 経 費	3,371,242
		人 件 費	13,510,733
<u>附属病院収入</u>	<u>17,830,000</u>		
診 療 収 入	17,830,000	<u>財務費用</u>	<u>0</u>
		支 払 利 息	0
<u>雑収入</u>	<u>507,486</u>		
負 担 金 及 び 補 助 金	231,742		
そ の 他 雑 収 入	275,744		
<u>受託収入</u>	<u>318,885</u>	<u>受託経費</u>	<u>318,885</u>
受 託 収 入	318,885	受 託 経 費	318,885
<u>寄附金収入</u>	<u>185,000</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>185,000</u>
奨 学 寄 付 金	185,000	寄 附 金 事 業 費	185,000
<u>道費補助金</u>	<u>950,000</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,470,000</u>
施 設 整 備 費 補 助 金	950,000	施 設 整 備 費	950,000
		機 器 整 備 費	520,000
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>		
医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	520,000		
計	28,354,846	計	28,354,846

11 校舎等建物面積

(平成19年4月1日現在 単位：㎡)

建物別 用途別		計	大 学 校 舎							RI室・がん 研 究 所	臨海医学 研 究 所
			東 棟	本 部 棟	教育北棟	教育南棟	保健医療 学 部 棟	臨床教育 研 究 棟	基礎医学 研 究 棟		
校 舎	講義室・演習室	3,775	1,059	358	360	920	816	262			
	実験室・実習室	8,331			1,551	510	2,926	2,039	1,305		
	研 究 室	4,484	641	153			1,241	1,313	1,136		
	講 座 関 係	3,727	199					2,578	950		
	標 本 館	407	37						370		
	図 書 館	4,230							4,230		
	RI研究センター	1,262								1,262	
	動物実験施設	2,080	1,691	389							
	講 堂	461						461			
	管理関係その他	29,771	4,312	1,025	637	311	2,655	8,137	12,694		
	小 計	58,528	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	1,262	
研 究 所	が ん 研 究 所	1,617								1,617	
	臨 海 研 究 所	199									199
	小 計	1,816								1,617	199
計		60,344	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	2,879	199

建物別 用途別		計	附 属 病 院		体 育 館	弓 道 場	附 属 建 物	グ ラ ウ ン ド	学 生 寮	保 育 所	看 護 師 宿 舎	セ ン タ ー	国 際 医 学 交 流	教 育 実 習 棟	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	交 流 会 館	フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	記 念 ホ ー ル	白 井 小 屋	そ の 他
			棟 中 央 病 棟	診 外 療 棟 来																
附 属 病 院	病 棟 関 係	24,635	22,253	2,382																
	外 来 関 係	8,475	901	7,574																
	中 央 部 門	11,373	10,257	1,116																
	管理関係その他	20,450	17,351	3,099																
	小 計	64,933	50,762	14,171																
体 育 施 設		1,741			1,440	139	162													
学 生 寮		1,190						1,190												
保 育 所		486							486											
看 護 師 宿 舎		2,847								2,847										
国際医学交流センター		618										618								
リハビリテーション教育実習棟		778												778						
交 流 会 館		1,907														1,907				
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス		552															552			
記 念 ホ ー ル		738																738		
そ の 他		165																	72	93
計		75,955	50,762	14,171	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	552	738			72	93	

総計 136,299

平成19年度 札幌医科大学要覧

平成19年9月発行

編集 札幌医科大学事務局経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線 2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp>
